

令和3年度 泉松陵高等学校 学校評価

『 学校評価アンケート集計 』

◎ 項目

(1) 学校オリジナル・県共通 28 項目

◎ 実施日 令和3年12月8日～12月16日

◎ 集計の特徴

(1) 集計項目を精選

- ・生徒・保護者・職員のアンケートを、項目毎にまとめて表示

(2) 「評価度」の活用

- ・評価値とは、個人の評価（◎:2，○:1，△:-1，×:-2）
- ・評価度とは分布の割合から評価値の平均を算定したもの
- ・ $-2 \leq$ 「評価度」 ≤ 2 であり、2に近づくほど評価は高い

(3) 評価における比較の多元化の維持

- ・生徒・保護者・職員の比較を、①年度間、②男女間、③学年間で比較が可能

(4) 評価のグラフ化

- ・生徒・保護者・職員毎に積み立て棒グラフで視覚化

(5) 分析のコメント作成

- ・生徒・保護者・職員毎と全体の分析を簡単なコメントで表現

令和3年度 学校評価アンケート 関連事項毎 分析・考察

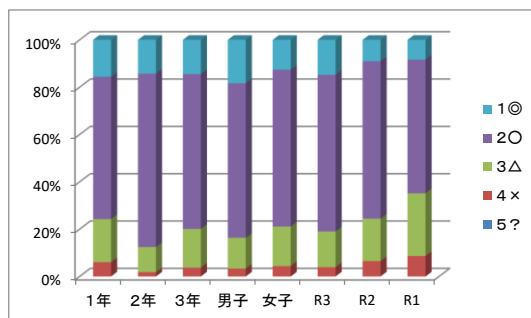
1 学ぶ意欲・学力を身につける授業

A教務

【生徒用】

1 生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

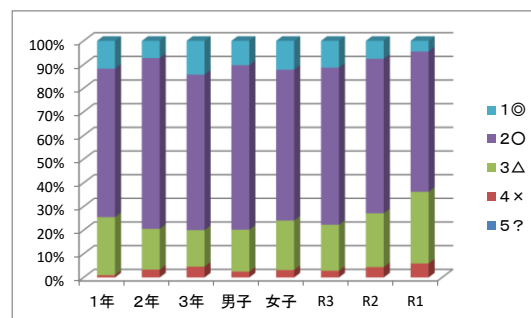
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	16%	14%	14%	18%	13%	15%	9%	8%	
2○	だいたい当てはまる	1	60%	73%	65%	65%	66%	66%	67%	57%	
3△	あまり当てはまらない	-1	18%	11%	16%	13%	17%	15%	18%	27%	
4×	当てはまらない	-2	6%	2%	4%	3%	4%	4%	6%	9%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			231	217	214	300	365	662	631	683	
評価度(-2~2)			→	0.61	0.88	0.71	0.82	0.66	0.73	0.54	0.29



【保護者用】

1 お子さんの学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

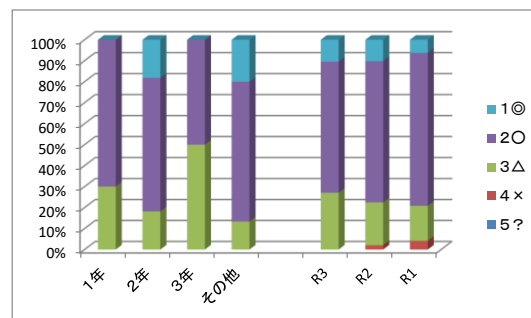
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	12%	7%	14%	10%	12%	11%	8%	5%	
2○	だいたい当てはまる	1	63%	72%	66%	70%	64%	66%	65%	59%	
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	17%	15%	18%	21%	19%	23%	30%	
4×	当てはまらない	-2	1%	3%	5%	2%	3%	3%	4%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			204	151	175	243	287	530	594	641	
評価度(-2~2)			→	0.60	0.63	0.70	0.67	0.61	0.64	0.49	0.26



【職員用】

1 生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけるような授業が行われている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	18%	0%	20%		10%	10%	6%	
2○	だいたい当てはまる	1	70%	64%	50%	67%		63%	67%	73%	
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	18%	50%	13%		27%	20%	17%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	2%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	49	48	
評価度(-2~2)			→	0.40	0.82	0.00	0.93		0.56	0.63	0.60



生徒用	今年度全体特徴	「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われているか」との質問項目に対して、「よく当てはまる」と回答した生徒が例年よりも多い。
	年度間比較	昨年の0.54よりも0.19ポイント高く、2年間にわたり評価の上昇傾向が見られる。
	男女間比較	男子の方が「よく当てはまる」と回答した割合が高く、女子は「あまり当てはまらない」と回答した割合が高い。
	学年間比較	2学年の評価が最も高く、1・3年での「よく当てはまる」と「あまり当てはまらない」の評価の割合がほぼ同じである。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同じく質問項目に対して、今年度の保護者は「よく当てはまる」と回答した割合が高い。
	年度間比較	昨年の0.49よりも0.14ポイント高く、生徒同様に2年間にわたり、評価の上昇傾向が見られる。
	男女間比較	男子の方が「よく当てはまる」と回答した割合が高く、女子は「あまり当てはまらない」と回答した割合が高い。
	学年間比較	2学年の評価が最も高く、1・3年での「よく当てはまる」と「あまり当てはまらない」の評価の割合がほぼ同じである。
職員	今年度全体特徴	昨年の0.63よりも0.07低く、生徒・保護者と職員の間での評価の差が拡大している。
	年度間比較	過去2年間に比べて、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と肯定的に答えた割合が低く、「あまり当てはまらない」と回答した割合が高い。
	学年間比較	1・3年の職員による、生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけるような授業が行われていることが「よく当てはまる」
全体	生徒・保護者との評価と、職員による評価の差が大きい。「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけるような授業」を展開していると、全学年を通じて肯定的に感じる生徒・保護者がいる中で、職員による自己評価は低い。	

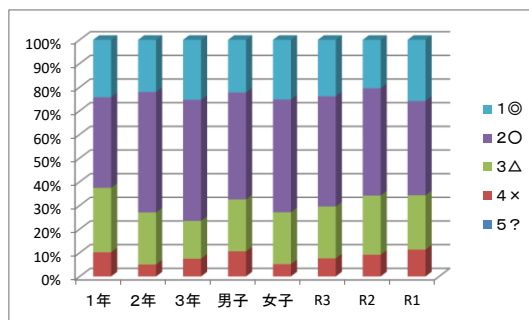
2 学業と部活動の両立

A教務

【生徒用】

2 自分は学業と部活動の両立ができています。

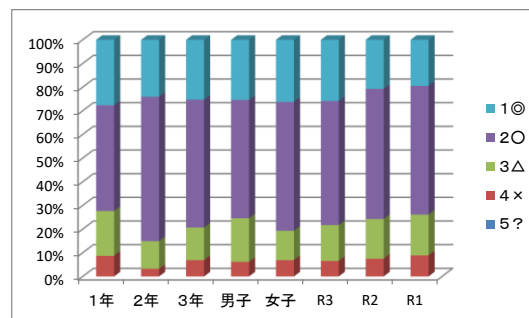
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	24%	22%	25%	22%	25%	24%	20%	26%	
2○	だいたい当てはまる	1	38%	51%	51%	45%	48%	47%	45%	40%	
3△	あまり当てはまらない	-1	27%	22%	16%	22%	22%	22%	25%	23%	
4×	当てはまらない	-2	10%	5%	8%	11%	5%	8%	9%	11%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			235	218	213	301	365	666	664	705	
評価度 (-2~2)			→	0.39	0.63	0.71	0.47	0.66	0.57	0.43	0.46



【保護者用】

2 お子さんは、学業と部活動の両立ができています。

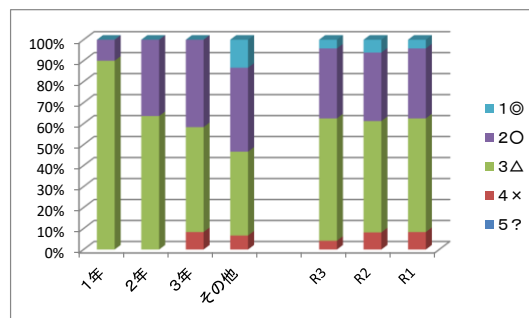
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	28%	24%	25%	25%	26%	26%	21%	19%	
2○	だいたい当てはまる	1	45%	61%	54%	50%	54%	52%	55%	54%	
3△	あまり当てはまらない	-1	19%	12%	14%	18%	12%	15%	17%	17%	
4×	当てはまらない	-2	9%	3%	7%	6%	7%	7%	8%	9%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			206	154	174	244	290	534	613	662	
評価度 (-2~2)			→	0.64	0.91	0.77	0.70	0.81	0.76	0.65	0.58



【職員用】

2 生徒は、学業と部活動の両立ができています。

no	選択肢	評価値	R3 (%)				R3計	R2計	R1計	
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	13%	4%	6%	4%	
2○	だいたい当てはまる	1	10%	36%	42%	40%	33%	33%	33%	
3△	あまり当てはまらない	-1	90%	64%	50%	40%	58%	53%	54%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	8%	7%	4%	8%	8%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15	48	49	48	
評価度 (-2~2)			→	-0.80	-0.27	-0.25	0.13	-0.25	-0.24	-0.29



生徒用	今年度全体特徴	過去2年間と比べて、学業と部活動の両立に取り組んだと肯定的に捉えている割合が増加した。
	年度間比較	下降傾向から転じて、ポイントが半分を超えて上昇傾向に移った。(0.46→0.43→0.57)
	男女間比較	女子の方が男子と比較して、0.19ポイント高い結果となっている。
	学年間比較	3年が0.71と最も高く、一方で1年は0.39と低い評価になっている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同じような評価を示しているが、生徒よりも評価は高い。
	年度間比較	過去2年間に比べて、上昇傾向を示している。(0.58→0.65→0.76)
	男女間比較	男子も女子も「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と肯定的に捉えている保護者が8割を超えている。
	学年間比較	2年が0.91と最も高く、1年は0.64と低いが、生徒よりも0.25ポイントが高い。
職員	今年度全体特徴	どの学年も全体的に低い評価となり、マイナスポイントとなっている。
	年度間比較	昨年度と同様に、両立できていない傾向が見られる。
	学年間比較	3年の「だいたい当てはまる」が42%と最も高く、1年は10%であった。一方で、1年の「あまり当てはまらない」の割合は90%を超えており、マイナスの評価が高く見られた。
全体	生徒・保護者はマイナスポイントとならなかったが、職員はすべての学年がマイナスポイントである。職員が求める学業と部活動の取り組みに関する意識は、おそらく職員の理想と乖離しており、両立が十分に出来ていないことがわかる。また学年によって、生徒・保護者の評価にも乖離が見られることから、今後も学業と部活動の両立に向けた継続した指導が求められる。	

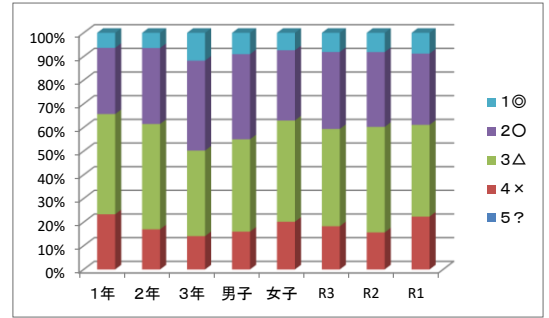
3 家庭学習の習慣

A教務

【生徒用】

3 自分は家庭学習の習慣が身に付いている。

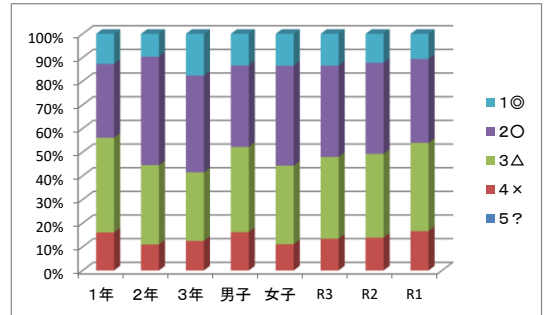
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	6%	6%	12%	9%	7%	8%	8%	9%
2○	だいたい当てはまる	1	28%	32%	38%	36%	30%	33%	32%	30%
3△	あまり当てはまらない	-1	42%	44%	36%	39%	43%	41%	45%	39%
4×	当てはまらない	-2	23%	17%	14%	16%	20%	18%	16%	22%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	218	213	300	367	667	664	707
評価度 (-2~2)			-0.48	-0.33	-0.03	-0.17	-0.39	-0.29	-0.28	-0.36



【保護者用】

3 お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。

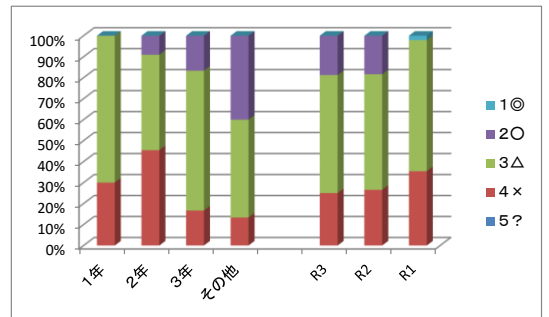
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	13%	10%	18%	13%	13%	12%	11%	
2○	だいたい当てはまる	1	31%	46%	41%	34%	42%	39%	38%	35%
3△	あまり当てはまらない	-1	40%	34%	29%	36%	33%	35%	35%	37%
4×	当てはまらない	-2	16%	11%	13%	16%	11%	13%	14%	17%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	155	176	247	289	536	613	662
評価度 (-2~2)			-0.16	0.10	0.22	-0.07	0.14	0.04	0.00	-0.14



【職員用】

3 生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)				R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%
2○	だいたい当てはまる	1	0%	9%	17%	40%	19%	18%	0%
3△	あまり当てはまらない	-1	70%	45%	67%	47%	56%	55%	63%
4×	当てはまらない	-2	30%	45%	17%	13%	25%	27%	35%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15	48	49	48
評価度 (-2~2)			-1.30	-1.27	-0.83	-0.33	-0.88	-0.90	-1.29



生徒用	今年度全体特徴	全ての学年でマイナス評価であり、全体的に家庭での学習習慣が身につけていない傾向が見られる。
	年度間比較	例年とほぼ変わりなく横ばい状態であるが、下降傾向である。
	男女間比較	差異は見られない。
	学年間比較	3年が最も高く0.36であるが、全学年をとってマイナスポイントとなっている。
保護者用	今年度全体特徴	例年とほぼ変わりなく、全体的に家庭での学習習慣が身につけていない傾向が見られる。
	年度間比較	若干ポイントがあがったものの、それでも依然として低い評価のままである。
	男女間比較	男子ではマイナス評価となっている。
	学年間比較	過去2年に比べて上昇したものの、ポイントは0.00である。
職員	今年度全体特徴	家庭での継続した学習習慣が身につけていないと感じている傾向が非常に強い。特に1年の職員の評価が最も低い。
	年度間比較	過年度に比べると、若干改善傾向は見られるものの、依然として低い評価である。
	学年間比較	どの学年も-1以下である。3年においては他学年よりははまだよいものの、受験生であるにも関わらず-0.83とマイナス評価となっている。
全体	家庭での学習習慣の定着には、保護者だけが0.04で、生徒・職員ともにマイナスポイントであり、学習習慣が確立されていない現実がみえている。生徒・保護者と職員との間にも大きな差が見られ、家庭学習に関する意識のズレが大きく浮き彫りになっている。	

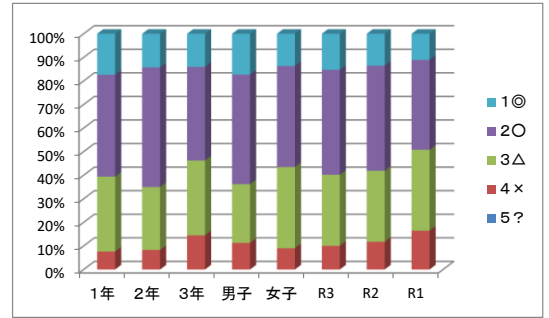
4 PTテスト

A教務

【生徒用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、自分の基礎学力の定着に役立っている。

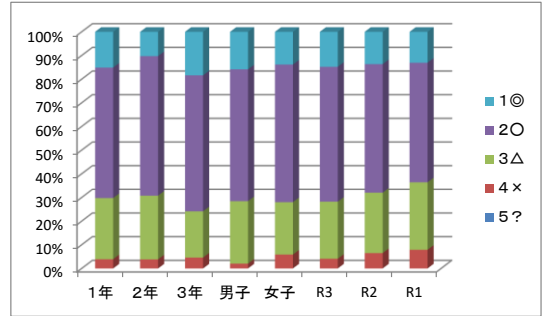
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	17%	14%	14%	17%	14%	15%	14%	11%
2○	だいたい当てはまる	1	43%	51%	40%	47%	43%	45%	45%	38%
3△	あまり当てはまらない	-1	32%	27%	32%	25%	34%	30%	30%	34%
4×	当てはまらない	-2	8%	8%	14%	11%	9%	10%	12%	16%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	217	214	301	366	667	664	705
評価度 (-2~2)			→ 0.31	0.36	0.07	0.34	0.18	0.25	0.18	-0.07



【保護者用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、お子さんの基礎学力の定着に役立っている。

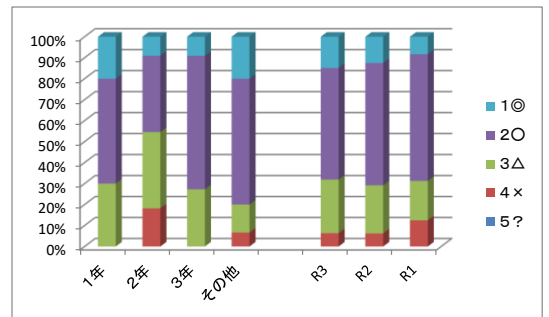
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	15%	10%	18%	16%	14%	15%	14%	13%
2○	だいたい当てはまる	1	55%	59%	57%	56%	58%	57%	54%	51%
3△	あまり当てはまらない	-1	26%	27%	20%	26%	22%	24%	26%	29%
4×	当てはまらない	-2	4%	4%	5%	2%	6%	4%	7%	8%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	156	174	246	289	535	615	659
評価度 (-2~2)			→ 0.52	0.45	0.66	0.57	0.52	0.54	0.43	0.32



【職員用】

4 PT(基礎学力定着)テストは、生徒の基礎学力の定着に役立っている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	20%	9%	9%	20%		15%	13%	8%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	36%	64%	60%		53%	58%	60%
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	36%	27%	13%		26%	23%	19%
4×	当てはまらない	-2	0%	18%	0%	7%		6%	6%	13%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	11	15		47	48	48
評価度 (-2~2)			→ 0.60	-0.18	0.55	0.73		0.45	0.48	0.33



生徒用	今年度全体特徴	昨年度よりも上昇に転じ、「当てはまる」と「だいたい当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合が半分以上を超えている。
	年度間比較	過去2年と比べて、プラスに転じており、少しずつ改善が見られている。
	男女間比較	ほとんど差異は見られない。
	学年間比較	どの学年もプラスの評価であるが、3年が最も低い。学年による感じ方の違いが見られる。
保護者用	今年度全体特徴	生徒の評価に比べて、よりプラスの評価となっている。
	年度間比較	例年と比較して、今年度は昨年よりもさらに改善の傾向が見られる。
	男女間比較	男女間の差は約0.05ポイント差で、ほとんど差異は見られない。
	学年間比較	3年が最も高く、0.66の評価である一方、1年0.52、2年0.45と半分程度である。前ページの結果から、家庭学習が確立出来ていないことを考慮すると、日頃の学習習慣が確立されていないことを受けた結果と推察される。
職員	今年度全体特徴	数値的には例年とほぼ同じであるが、学年間による感じ方の違いが見られる。
	年度間比較	昨年度よりは若干低い結果となった。
	学年間比較	1年で大幅にプラスに転じている。生徒と比べて、捉え方に大きな差異が生じている。
全体		生徒については、1年は基礎学力の定着に概ね役立っていると評価する傾向が高いのに比べ、3年ではあまり高い評価を占めていない。一方、職員の評価は逆を示しており、1年・3年ではPTへの取り組みを好意的に捉えており、学習意欲に高まりに繋がる手立てとして。新たな取り組みも検討していくための材料として、職員間で評価の差が出ていることを共有するべきである。

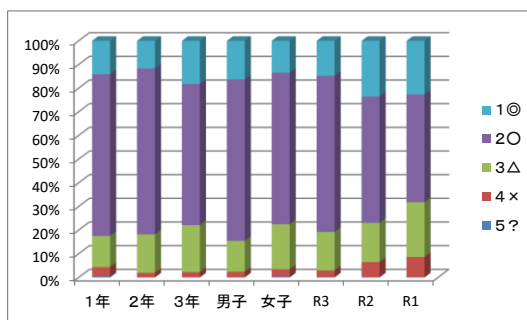
5 基本的生活習慣の確立に関する指導

B生徒

【生徒用】

5 生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

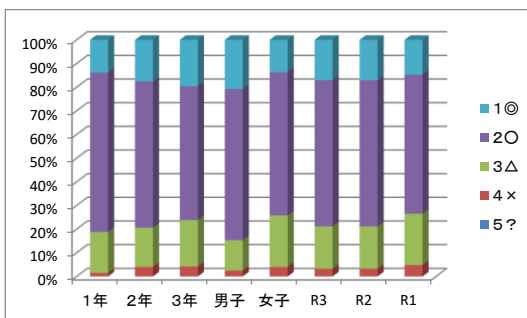
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	14%	12%	18%	16%	13%	15%	24%	23%	
2○	だいたい当てはまる	1	68%	70%	60%	68%	64%	66%	53%	46%	
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	16%	20%	13%	19%	16%	17%	23%	
4×	当てはまらない	-2	4%	2%	2%	2%	3%	3%	6%	9%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			205	154	176	246	289	535	663	705	
評価度 (-2~2)			→	0.76	0.73	0.72	0.83	0.66	0.74	0.71	0.50



【保護者用】

5 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

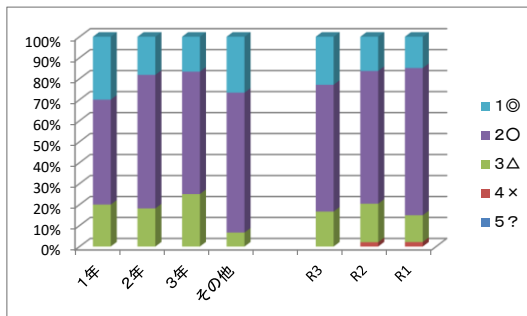
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	14%	18%	20%	21%	14%	17%	17%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	67%	62%	57%	64%	61%	62%	62%	59%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	17%	20%	13%	22%	18%	18%	22%
4×	当てはまらない	-2	1%	4%	4%	3%	4%	3%	3%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			202	199	214	280	322	615	615	664
評価度 (-2~2)			→	0.75	0.72	0.68	0.88	0.58	0.72	0.57



【職員用】

5 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	30%	18%	17%	27%		23%	16%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	64%	58%	67%		60%	63%	70%	
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	18%	25%	7%		17%	18%	13%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	2%	2%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	49	47	
評価度 (-2~2)			→	0.90	0.82	0.67	1.13		0.90	0.73	0.83



生徒用	今年度全体特徴	全体として、「当てはまる」と回答した生徒が多く、自己評価が高いことがわかる。
	年度間比較	昨年度と比べて、当てはまると回答している率が微増している。
	男女間比較	ほぼ同率の回答であるが、男子の方が守れている自覚が高い。
	学年間比較	わずかながら、1, 2学年のほうが、3学年に比べて守れていると評価している。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と評価度はあまり変わらない。
	年度間比較	昨年度と同じ評価度である。
	男女間比較	男子の保護者の方が、基本的生活習慣について学校での指導に高く評価している。
	学年間比較	3学年がやや低い。
職員	今年度全体特徴	多くの職員が、基本的生活習慣の確率に関せれる指導が行われていると回答している。
	年度間比較	これまで2%の職員が「当てはまらない」と回答していたが今年度は0だった。
	学年間比較	1, 2学年のほうが、3学年に比べて高い評価を示している。
全体	基本的生活習慣については、生徒・保護者・職員ともわずかな変化はありつつも、例年通りの回答である。指導の様子・意義は生徒や保護者に概ね理解されていると考える。学年ごとの数値の差があるので、学校全体で生徒指導するために、職員全員が情報を共有して対応していく必要がある。	

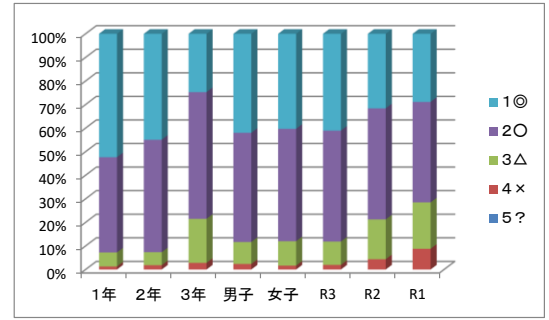
6 部活動の活発化

B生徒

【生徒用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

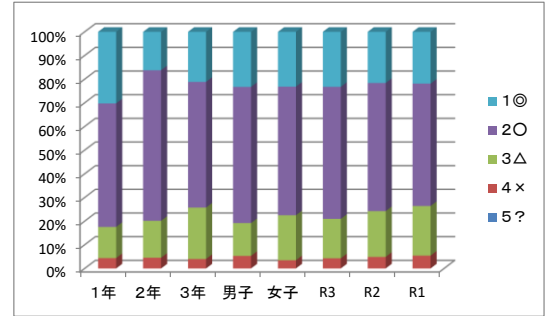
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	52%	45%	25%	42%	40%	41%	32%	29%	
2○	だいたい当てはまる	1	40%	48%	54%	46%	48%	47%	47%	43%	
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	6%	19%	9%	10%	10%	17%	20%	
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	3%	2%	2%	2%	4%	9%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			235	218	214	300	367	667	664	706	
評価度 (-2~2)			→	1.37	1.28	0.79	1.16	1.15	1.15	0.85	0.63



【保護者用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

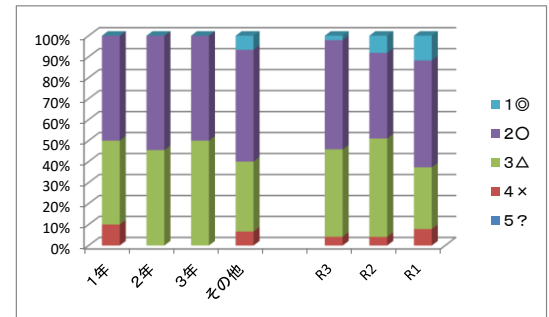
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	30%	16%	21%	23%	23%	23%	22%	22%	
2○	だいたい当てはまる	1	52%	64%	53%	58%	54%	56%	54%	52%	
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	16%	22%	14%	19%	17%	19%	21%	
4×	当てはまらない	-2	4%	5%	4%	5%	3%	4%	5%	5%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			205	154	175	245	289	534	615	663	
評価度 (-2~2)			→	0.91	0.71	0.66	0.80	0.75	0.77	0.68	0.64



【職員用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	その他		計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	7%		2%	8%	12%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	55%	50%	53%		52%	41%	51%	
3△	あまり当てはまらない	-1	40%	45%	50%	33%		42%	47%	29%	
4×	当てはまらない	-2	10%	0%	0%	7%		4%	4%	8%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	49	51	
評価度 (-2~2)			→	-0.10	0.09	0.00	0.20		0.06	0.02	0.29



生徒用	今年度全体特徴	約9割の生徒が「当てはまる」と回答した。
	年度間比較	「当てはまらない」と回答した生徒がわずかに減少している。部活動に満足している生徒が多い。
	男女間比較	男女ともに、同じ割合で本校の部活動が活発に行われていると感じていると思われる。
	学年間比較	1, 2学年の方が「当てはまる」と回答している。3学年はコロナ禍で活動できなかったことが影響しているのではないかと。
保護者用	今年度全体特徴	8割を超える保護者が、本校の部活動に対して、活発に行われていると感じている。
	年度間比較	前年度よりも「当てはまる」と回答している保護者が多い。
	男女間比較	男女共に、前向きな回答である。男子の保護者のほうがより高く評価している。
	学年間比較	3学年>2学年>1学年の順に評価が高い。
職員	今年度全体特徴	「当てはまる」と回答した職員と「あまり当てはまらない」と回答した職員の割合が半々である。
	年度間比較	「よく当てはまる」と回答した職員が一昨年は1割を超えていたが、今年度は2%となり、減少傾向にある。
	学年間比較	「よく当てはまる」と回答した1, 2学年の職員が一人もいなかった。
全体	生徒・保護者と職員との間で大きな差が見られた。子ども達はそれなりに部活動を満喫している一方、以前活躍した過卒生を知る職員にとっては、在校生の活動の様子に大きな差を感じている。さらにコロナ禍の自粛時期も重なってしまい、その結果が数値に出たと考えられる。	

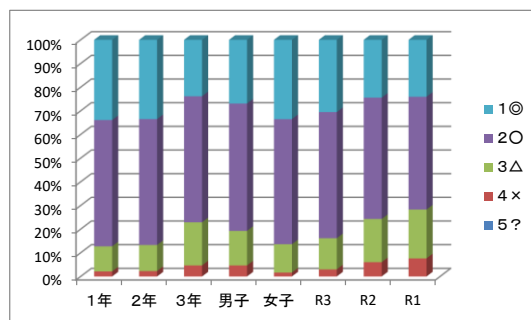
7 生徒会活動の活発化

B生徒

【生徒用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

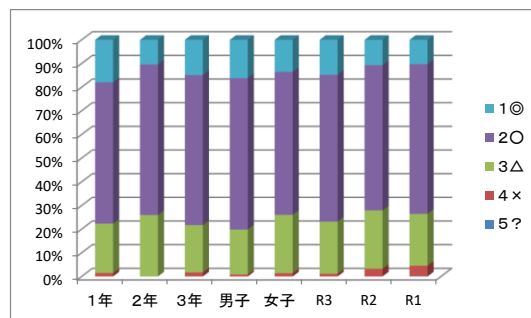
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計
1◎	よく当てはまる	2	34%	33%	24%	27%	34%	31%	24%	24%
2○	だいたい当てはまる	1	53%	53%	53%	54%	53%	53%	51%	48%
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	11%	18%	15%	12%	13%	18%	21%
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	5%	5%	2%	3%	6%	8%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	218	214	301	367	668	663	707
評価度 (-2~2)			→ 1.06	1.05	0.73	0.84	1.05	0.95	0.70	0.60



【保護者用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

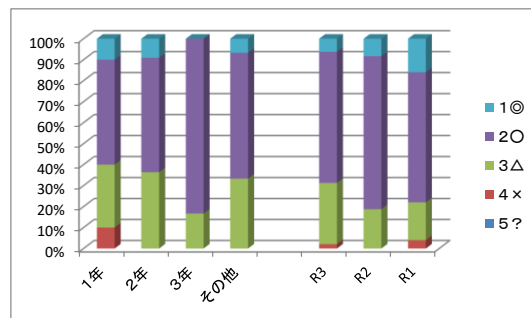
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計
1◎	よく当てはまる	2	18%	10%	15%	16%	14%	15%	11%	10%
2○	だいたい当てはまる	1	60%	64%	63%	64%	60%	62%	61%	63%
3△	あまり当てはまらない	-1	21%	26%	20%	19%	25%	22%	25%	22%
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	2%	1%	1%	1%	3%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			206	154	175	247	288	535	616	661
評価度 (-2~2)			→ 0.72	0.58	0.70	0.76	0.60	0.67	0.52	0.53



【職員用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1
			1年	2年	3年	その他		計	計	計
1◎	よく当てはまる	2	10%	9%	0%	7%		6%	8%	16%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	55%	83%	60%		63%	73%	62%
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	36%	17%	33%		29%	19%	18%
4×	当てはまらない	-2	10%	0%	0%	0%		2%	0%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	48	50
評価度 (-2~2)			→ 0.20	0.36	0.67	0.40		0.42	0.71	0.68



生徒用	今年度全体特徴	全体的に肯定的に理解されている。
	年度間比較	8割を超える生徒が生徒会活動が活発に行われていると感じており、昨年度の7割よりも高い。
	男女間比較	男子よりも女子の方が「当てはまる」と回答した人が多い。
	学年間比較	どの学年も評価は高いが、3学年で2割弱の生徒が「あまり当てはまらない」と回答している。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同様、全体的に肯定的に受け止められている。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」と回答した率が減少した。
	男女間比較	女子よりも男子の保護者の方が評価が高い。
	学年間比較	2学年で、「当てはまらない」と回答した保護者が0だった。
職員	今年度全体特徴	約7割の職員が生徒会活動が活発に行われていると評価している。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」と回答した率が3割近くまで上昇してしまった。
	学年間比較	1, 2学年が低めである。1学年においては、他学年が0%だった「当てはまらない」が10%である。
全体	活動の中心となっている学年の職員の影響もあるのか、特に職員間での評価の差が激しいようである。生徒が主体的に活動し、さらに生徒達で周囲に活動内容を提供したり、共有したりできる環境作りが必要ではないか。	

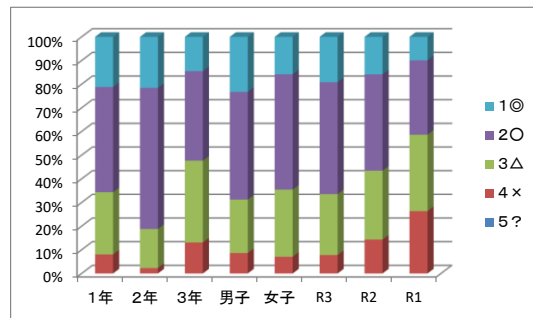
8 いじめ問題への取組

B生徒

【生徒用】

8 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

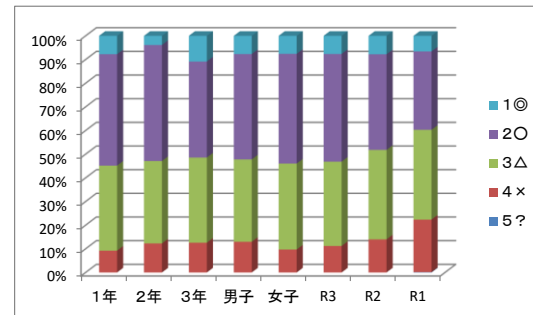
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	21%	22%	14%	23%	16%	19%	16%	10%	
2○	だいたい当てはまる	1	44%	60%	38%	46%	49%	47%	41%	31%	
3△	あまり当てはまらない	-1	26%	17%	35%	23%	28%	26%	29%	32%	
4×	当てはまらない	-2	8%	2%	13%	9%	7%	8%	14%	26%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			236	218	214	301	367	668	663	706	
評価度 (-2~2)			→	0.44	0.82	0.06	0.52	0.38	0.44	0.15	-0.34



【保護者用】

8 学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている。

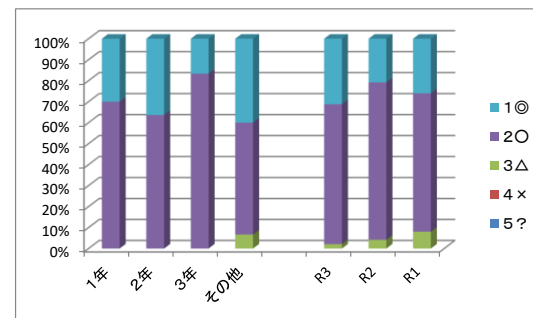
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	8%	4%	11%	8%	8%	8%	8%	7%	
2○	だいたい当てはまる	1	47%	49%	41%	45%	46%	46%	40%	33%	
3△	あまり当てはまらない	-1	36%	35%	36%	35%	36%	36%	38%	38%	
4×	当てはまらない	-2	9%	12%	13%	13%	10%	11%	14%	22%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			206	155	175	247	289	536	616	667	
評価度 (-2~2)			→	0.08	-0.03	0.01	-0.01	0.06	0.03	-0.10	-0.36



【職員用】

8 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	30%	36%	17%	40%		31%	21%	26%	
2○	だいたい当てはまる	1	70%	64%	83%	53%		67%	75%	66%	
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	0%	7%		2%	4%	8%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	48	50	
評価度 (-2~2)			→	1.30	1.36	1.17	1.27		-1.27	1.13	1.10



生徒用	今年度全体特徴	いじめに関する学校の取り組みに「当てはまる」と感じている生徒は7割弱である。
	年度間比較	一昨年に比べ、徐々に学校の取り組みに対する評価が高くなっており、生徒と職員間の信頼関係が回復の兆しがある。
	男女間比較	若干、男子の方が女子よりも「当てはまる」と回答している。
	学年間比較	学年によって「当てはまる」と回答した数値にばらつきがある。3学年が低い。
保護者用	今年度全体特徴	「当てはまる」と回答した保護者とそうでないと回答した保護者の数値がほぼ半々である。
	年度間比較	前年度、一昨年度に比べ徐々に「当てはまる」と回答した数値が上昇しており、学校への評価は回復しつつある。
	男女間比較	男女ほぼ同率で「当てはまる」に回答している。
	学年間比較	若干1学年の保護者が他学年より多く「当てはまる」と回答している。
職員	今年度全体特徴	職員は、全体的にいじめ問題に手段を講じて対策しているようだ。
	年度間比較	今年度は最も高い数値で「当てはまる」と回答している。
	学年間比較	1, 2学年の職員全員が「当てはまる」と回答している。
全体	職員のほうは、いじめ対策に取り組んでいる意識があり、特に学年毎でいじめの早期発見の取組の評価も高かったのだが、一方、生徒・保護者については、十分な理解を得られているとは言い切れない数値である。今後もさらに学校側の指導方針や指導の様子が伝わり、家庭での協力が得られるよう信頼関係を築いていく必要がある。	

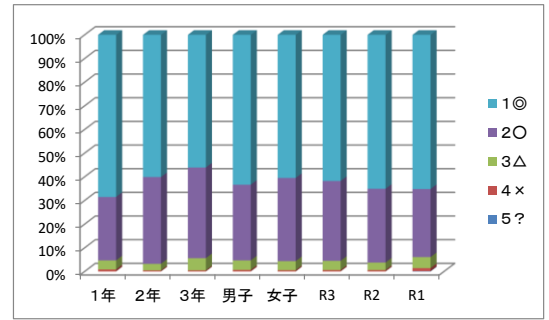
9 服装

B生徒

【生徒用】

9 自分は、正しい服装で学校生活を送っている。

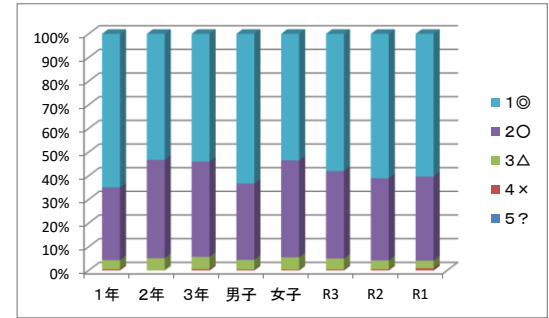
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	69%	60%	56%	63%	60%	62%	65%	65%	
2○	だいたい当てはまる	1	27%	37%	38%	32%	35%	34%	31%	29%	
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	3%	5%	4%	4%	4%	3%	5%	
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	1%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			235	218	214	300	367	667	664	706	
評価度 (-2~2)			→	1.58	1.53	1.44	1.53	1.51	1.52	1.57	1.52



【保護者用】

9 お子さんは、正しい服装で学校生活を送っている。

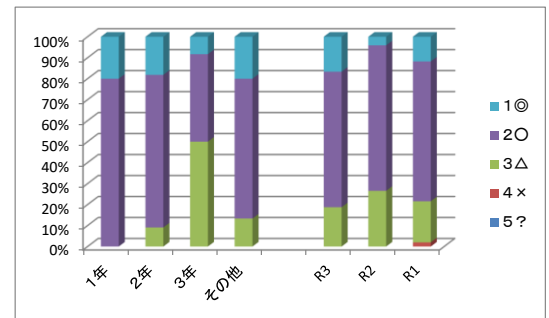
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	65%	53%	54%	63%	53%	58%	61%	60%	
2○	だいたい当てはまる	1	31%	42%	40%	32%	41%	37%	35%	36%	
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	5%	5%	4%	5%	5%	4%	3%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			205	154	174	245	288	533	610	652	
評価度 (-2~2)			→	1.56	1.43	1.42	1.54	1.42	1.47	1.52	1.51



【職員用】

9 生徒は、正しい服装で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	その他		計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	20%	18%	8%	20%		17%	4%	12%	
2○	だいたい当てはまる	1	80%	73%	42%	67%		65%	69%	67%	
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	9%	50%	13%		19%	27%	20%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	2%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	49	51	
評価度 (-2~2)			→	1.20	1.00	0.08	0.93		0.79	0.51	0.67



生徒用	今年度全体特徴	9割の生徒が、自分は正しい服装で学校生活を送っていると回答している。
	年度間比較	例年とあまり変わらない評価である。
	男女間比較	男女問わず、同じ評価である。
	学年間比較	全学年とても良好な自己評価である。1学年に1%の生徒が「当てはまらない」と回答している。
保護者用	今年度全体特徴	全体的に、生徒と同様の回答である。
	年度間比較	昨年より0.05評価度が低かった。
	男女間比較	生徒と同様に男女ほぼ変わらない評価である。
	学年間比較	1学年の保護者のほうが、他学年よりも多く「当てはまる」と回答している。
職員	今年度全体特徴	約8割の職員が「当てはまる」と回答している。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」が前年度に比べて8ポイント減少した。
	学年間比較	3学年の半数の職員が「あまり当てはまらない」と回答している。
全体	学年によって、制服の着こなしの評価が異なっている。とりわけ、3学年の職員は十分ではないと厳しい回答をしている。一方、自分達の制服の着こなしが十分であると高く自己評価している生徒が多い。	

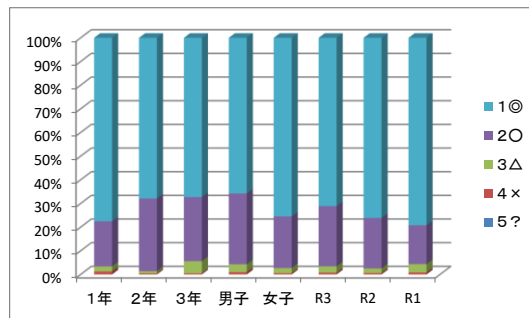
10 頭髪

B生徒

【生徒用】

10 自分は、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

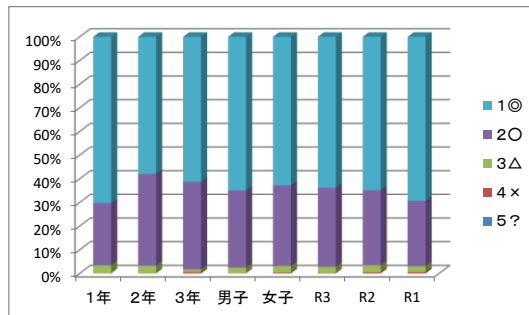
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	78%	68%	67%	66%	75%	71%	76%	79%
2○	だいたい当てはまる	1	19%	31%	27%	30%	22%	25%	21%	16%
3△	あまり当てはまらない	-1	2%	1%	5%	3%	2%	3%	2%	4%
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	218	214	301	367	668	665	707
評価度 (-2~2)			→ 1.69	1.65	1.56	1.56	1.69	-1.63	1.70	1.70



【保護者用】

10 お子さんは、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

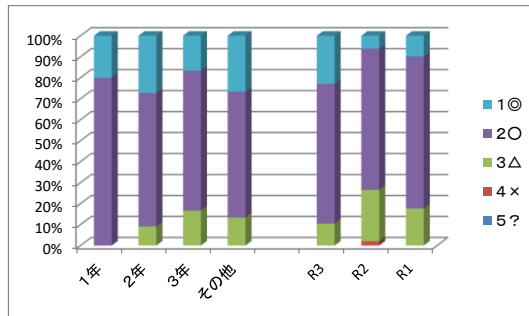
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	70%	58%	61%	65%	63%	64%	65%	69%
2○	だいたい当てはまる	1	26%	39%	37%	33%	34%	33%	32%	28%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	3%	1%	2%	3%	3%	3%	2%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	152	173	245	285	530	606	654
評価度 (-2~2)			→ 1.63	1.51	1.57	1.60	1.56	-1.58	1.57	1.63



【職員用】

10 生徒は、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	20%	27%	17%	27%		23%	6%	10%
2○	だいたい当てはまる	1	80%	64%	67%	60%		67%	67%	73%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	9%	17%	13%		10%	24%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	2%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	49	51
評価度 (-2~2)			→ 1.20	1.09	0.83	1.00		-1.02	0.51	0.75



生徒用	今年度全体特徴	ほとんどの生徒がきちんとした頭髪で学校生活を送っていると自己評価している。
	年度間比較	例年と変わらない高い評価である。
	男女間比較	「当てはまらない」と答えた男子が1%いる。男女ほぼ同等の評価である。
	学年間比較	わずかに2学年で「当てはまらない」と回答した生徒がいるが、ほとんどの生徒が良好であると答えている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒よりも若干低い評価ではあるが、多くの保護者が吉案とし頭髪で学校生活を送っていると回答している。
	年度間比較	評価度が前年度よりも0.06低かった。
	男女間比較	「当てはまらない」と答えた女子の保護者が1%いる。
	学年間比較	1学年の保護者の評価が最も高い。一番低い評価は2学年で6割を切る。
職員	今年度全体特徴	当てはまると答えた職員は7割程度である。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」と回答した職員が2割おり、「よく当てはまる」と回答した職員は6%しかいなかった。
	学年間比較	学年に差が見られる。特に3学年は4割の職員が「あまり当てはまらない」と回答している。
全体	生徒・保護者・職員で回答数値に大きな差が見られる。生徒・保護者は比較的高く評価しているが、職員はそうではない。また、学年によって評価が異なっている。生徒への指導が十分伝わっていないところがある。引き続き指導が必要ではないかと考える。	

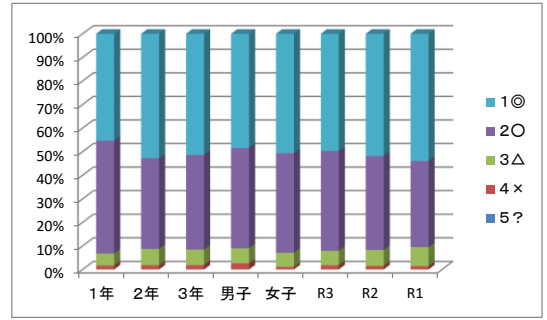
11 挨拶について

B生徒

【生徒用】

11 自分は、しっかりした挨拶ができています。

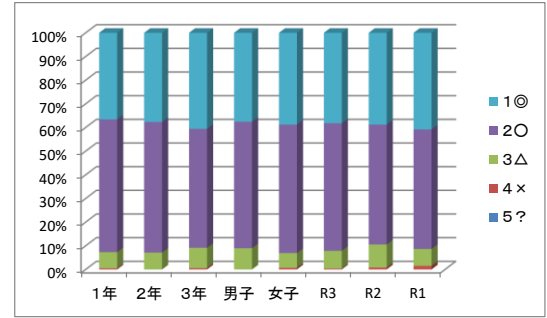
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	45%	53%	51%	49%	51%	50%	52%	54%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	39%	40%	43%	42%	42%	40%	37%
3△	あまり当てはまらない	-1	5%	7%	7%	6%	6%	6%	7%	8%
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	2%	3%	1%	2%	2%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	218	214	301	367	668	663	706
評価度 (-2~2)			→ 1.30	1.33	1.33	1.28	1.35	1.32	1.34	1.34



【保護者用】

11 お子さんは、しっかりした挨拶ができています。

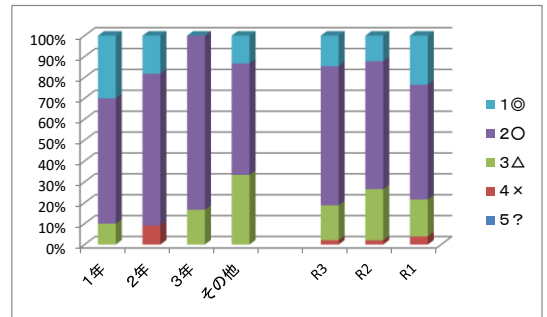
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	37%	38%	41%	38%	39%	38%	39%	41%
2○	だいたい当てはまる	1	56%	55%	50%	53%	54%	54%	51%	51%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	7%	9%	9%	6%	7%	10%	7%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	1%	0%	1%	0%	1%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	154	175	245	289	534	606	659
評価度 (-2~2)			→ 1.21	1.23	1.22	1.20	1.24	1.22	1.17	1.22



【職員用】

11 生徒は、しっかりした挨拶ができています。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	30%	18%	0%	13%		15%	12%	24%
2○	だいたい当てはまる	1	60%	73%	83%	53%		67%	61%	55%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	0%	17%	33%		17%	24%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	9%	0%	0%		2%	2%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	49	51
評価度 (-2~2)			→ 1.10	0.91	0.67	0.47		0.75	0.57	0.76



生徒用	今年度全体特徴	全体的に、ほとんどの生徒が挨拶ができていますと回答している。
	年度間比較	若干の生徒が、「当てはまらない」と回答している。
	男女間比較	男女ともに9割の生徒がしっかりした挨拶ができていますと自負している。
	学年間比較	どの学年も、挨拶に関しては、良好な取組ができていますと感じているようである。
保護者用	今年度全体特徴	「だいたい当てはまる」と回答している保護者が半数以上おり、例年通りの評価は概ね良好であると考えます。
	年度間比較	前年度よりも、評価度が上昇している。
	男女間比較	女子の方が0.02高い評価度である。
	学年間比較	生徒同様に、どの学年も良好な取組ができていますと感じているようである。
職員	今年度全体特徴	「挨拶ができています」と考えている職員が多い。
	年度間比較	昨年度より評価度が0.18上昇している。
	学年間比較	どの学年も挨拶ができていますと評価しているものの、2学年の9%の職員は「当てはまらない」と評価している。
全体	ほとんどの生徒はしっかりした挨拶が身につけており、自己評価も高い。しかしながら、まだまだ挨拶に関して指導が必要であると考えている職員も少なくない。今後も指導を継続しつつ、生徒に限らず、全体で気持ちの良い挨拶ができる雰囲気を作っていくのが望ましい。	

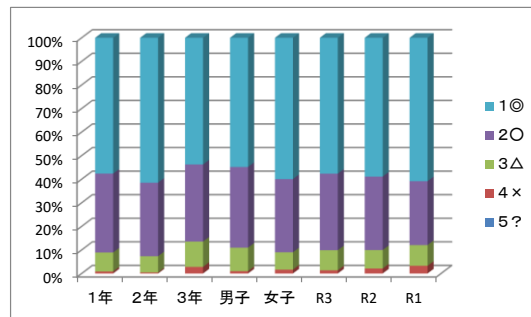
12 学校生活リズム

B生徒

【生徒用】

12 自分は、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

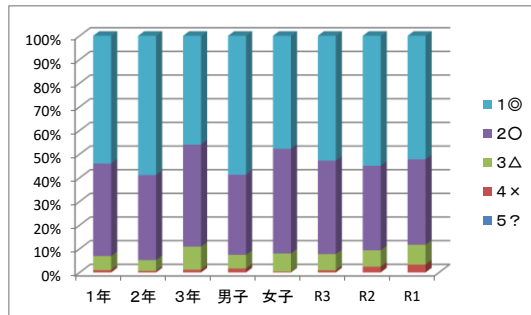
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計
1◎	よく当てはまる	2	58%	61%	54%	55%	60%	58%	59%	61%
2○	だいたい当てはまる	1	33%	31%	33%	34%	31%	32%	31%	27%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	7%	11%	10%	7%	9%	8%	9%
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	3%	1%	2%	1%	2%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	218	214	301	367	668	664	705
評価度 (-2~2)			→ 1.39	1.46	1.24	1.32	1.40	1.37	1.37	1.33



【保護者用】

12 お子さんは、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

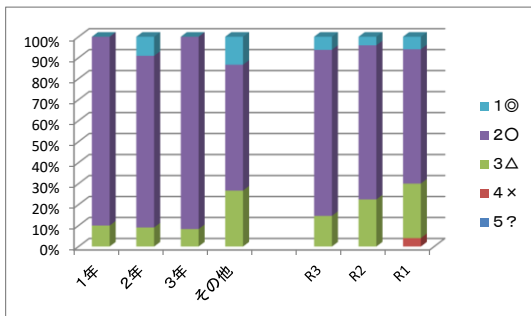
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計
1◎	よく当てはまる	2	54%	59%	46%	59%	48%	53%	55%	52%
2○	だいたい当てはまる	1	39%	36%	43%	34%	44%	40%	36%	36%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	5%	10%	6%	8%	7%	7%	8%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	1%	2%	0%	1%	2%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			202	153	174	242	287	529	608	657
評価度 (-2~2)			→ 1.39	1.48	1.23	1.42	1.31	1.36	1.34	1.25



【職員用】

12 生徒は、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1
			1年	2年	3年	その他		計	計	計
1◎	よく当てはまる	2	0%	9%	0%	13%		6%	4%	6%
2○	だいたい当てはまる	1	90%	82%	92%	60%		79%	73%	64%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	9%	8%	27%		15%	22%	26%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	49	50
評価度 (-2~2)			→ 0.80	0.91	0.83	0.60		0.77	0.59	0.42



生徒用	今年度全体特徴	概ね良好に学校生活のリズムを身につけている。
	年度間比較	昨年度と評価度が同じである。
	男女間比較	女子の方が男子より多く「当てはまる」と答えている。
	学年間比較	どの学年も、約9割の生徒がメリハリのある学校生活を送っている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒同様にほとんどの保護者が子ども達の学校生活のリズムがしっかり身につけていると感じている。
	年度間比較	昨年度と比べて、評価度が0.02上昇した。
	男女間比較	男子の方が女子よりも評価度が0.1高く、良好と回答している。
	学年間比較	1, 2学年の方が、3学年に比べて「当てはまる」と回答する保護者の割合が多い。
職員	今年度全体特徴	約8割の職員が「よく当てはまる・だいたい当てはまる」と回答している。
	年度間比較	前年度に比べ、評価度が0.18上昇した。
	学年間比較	1, 3学年では0だったが、2学年の中で、約1割の職員が「よく当てはまる」と回答している。
全体	ほとんどの生徒が学校の生活のリズムを身につけていると自負しており、保護者もその通りだと考えているようである。一方、15%の職員があまり当てはまらなないと回答しており、家庭と学校での認識の差、あるいは行動の差が見られる。	

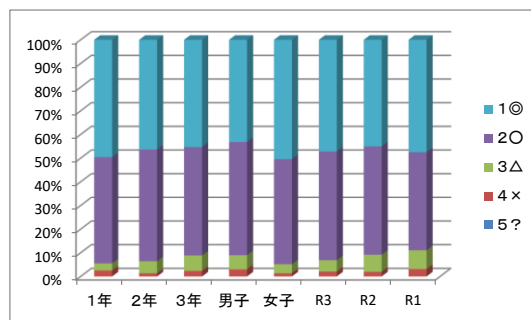
13 思いやりの心

B生徒

【生徒用】

13 自分は、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

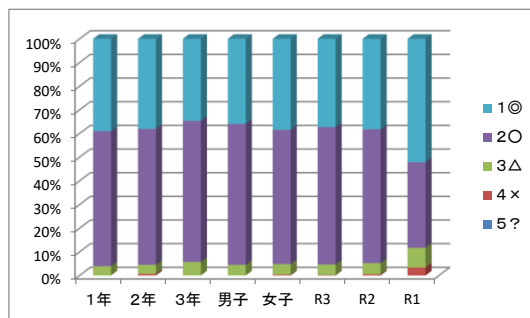
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	50%	46%	45%	43%	50%	47%	45%	47%
2○	だいたい当てはまる	1	45%	47%	46%	48%	44%	46%	46%	41%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	5%	7%	6%	4%	5%	7%	8%
4×	当てはまらない	-2	3%	1%	2%	3%	1%	2%	2%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	218	214	301	367	668	664	704
評価度 (-2~2)			→ 1.36	1.32	1.25	1.22	1.39	1.31	1.25	1.22



【保護者用】

13 お子さんは、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

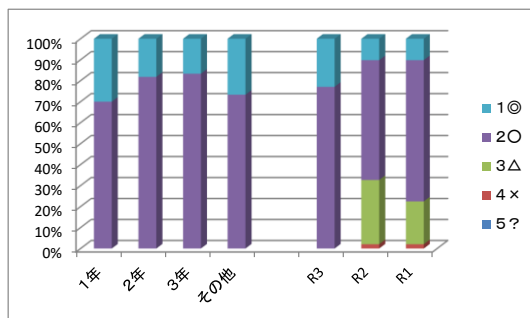
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	39%	38%	35%	36%	38%	37%	38%	52%
2○	だいたい当てはまる	1	57%	57%	60%	60%	57%	58%	57%	36%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	4%	6%	4%	4%	4%	5%	8%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	3%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	155	176	245	291	536	612	657
評価度 (-2~2)			→ 1.31	1.28	1.23	1.27	1.29	1.28	1.27	1.25



【職員用】

13 生徒は、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	30%	18%	17%	27%		23%	10%	10%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	82%	83%	73%		77%	57%	67%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	0%	0%		0%	31%	20%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	2%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	49	49
評価度 (-2~2)			→ 1.30	1.18	1.17	1.27		1.23	0.43	0.63



生徒用	今年度全体特徴	多くの生徒が、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接していると自負している。
	年度間比較	前年度と同様の評価である。
	男女間比較	どちらも9割の生徒が「思いやり」をもって生活しているが、女子の方が男子よりも高い評価値である。
	学年間比較	どの学年も思いやりの心をもって仲間と接している。わずかではあるが、1学年が他学年よりも高い。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同様に高い評価値を指している。
	年度間比較	昨年度と比べて微増している。
	男女間比較	男女同様の評価である。
	学年間比較	生徒と同様に、1学年>2学年>1学年>の順に評価が高い。
職員	今年度全体特徴	回答した職員全員が、思いやりの心があると評価をしている。
	年度間比較	前年度に比べて評価値が0.8上昇した。「当てはまる」と回答している職員が多い。
	学年間比較	1学年の職員の評価が他学年よりも高い。
全体	学年が上がるに従って数値が上昇している。生徒だけでなく、保護者・職員も、子ども達が皆、思いやりのある学校生活を送ることができていると回答している。今後も、生徒のより良い人間関係を育むための支援に尽力する必要がある。	

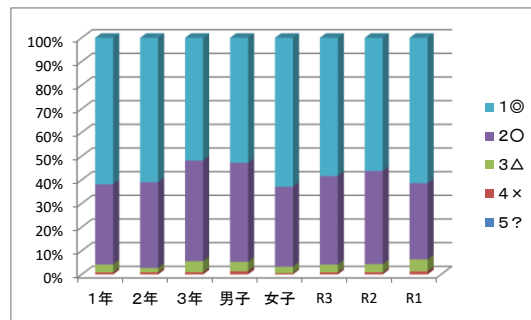
14 通学マナー

B生徒

【生徒用】

14 自分は、自転車やバスの通学マナーを守っている。

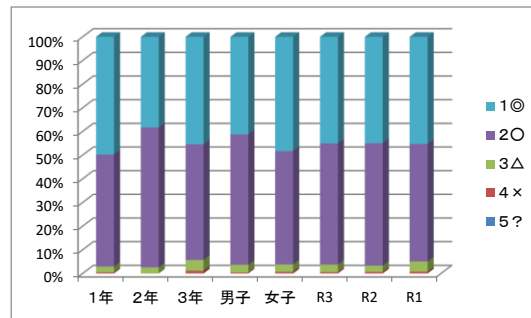
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	62%	61%	52%	53%	63%	58%	56%	61%
2○	だいたい当てはまる	1	34%	36%	43%	42%	34%	37%	39%	32%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	2%	5%	4%	3%	3%	3%	5%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	218	214	301	367	668	665	705
評価度 (-2~2)			→ 1.53	1.55	1.40	1.41	1.56	-1.49	1.47	1.47



【保護者用】

14 お子さんは、自転車やバスの通学マナーを守っている。

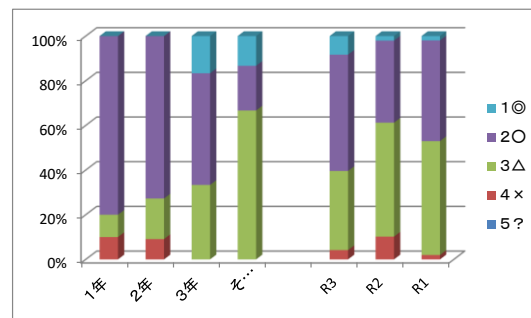
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	50%	38%	45%	41%	48%	45%	45%	45%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	59%	49%	55%	48%	51%	52%	50%
3△	あまり当てはまらない	-1	2%	3%	5%	3%	3%	3%	3%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	1%	0%	1%	1%	1%	1%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	154	174	245	288	533	605	654
評価度 (-2~2)			→ 1.43	1.33	1.33	1.33	1.40	-1.37	1.38	1.34



【職員用】

14 生徒は、自転車やバスの通学マナーを守っている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	17%	13%		8%	2%	2%
2○	だいたい当てはまる	1	80%	73%	50%	20%		52%	37%	45%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	18%	33%	67%		35%	51%	51%
4×	当てはまらない	-2	10%	9%	0%	0%		4%	10%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	49	51
評価度 (-2~2)			→ 0.50	0.36	0.50	-0.20		-0.25	-0.31	-0.06



生徒用	今年度全体特徴	ほとんどの生徒が通学マナーを守っていると回答している。
	年度間比較	前年度よりも評価度がわずかに上昇している。
	男女間比較	男女どちらも、9割強の生徒が良好であると自負している。
	学年間比較	2学年の評価が他学年よりも高い。
保護者用	今年度全体特徴	生徒同様に、9割の保護者が子ども達の通学マナーが良好であると回答している。
	年度間比較	前年度とあまり変わらない。
	男女間比較	女子のほうが男子よりも評価が高い。
	学年間比較	1学年の保護者が他学年よりも高い評価をしている。
職員	今年度全体特徴	「当てはまらない・あまり当てはまらない」と回答している職員が約4割いる。
	年度間比較	昨年度までマイナスだった評価度が解消された。
	学年間比較	全体的に、学年が上がるに従ってあまり当てはまらないという低い評価が約10ポイントずつ上昇している。
全体	生徒自身は通学マナーを十分守っていると回答し、保護者も生徒同様に高く評価をしている。しかしながら、職員の視点で見ると、生徒の通学マナーはあまり良好ではないと回答しており、生徒との認識に大きな差が見られる。今後も、集会や講習会だけでなく、日頃から交通安全を意識させ、交通事故に巻き込まれないよう生徒一人一人に声掛けしていきたい。	

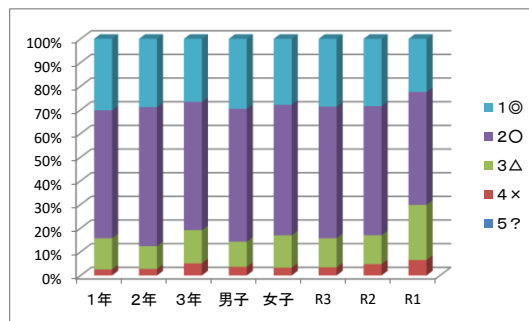
15 進路目標の明確化に向けた適切な指導

C進路

【生徒用】

15 生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

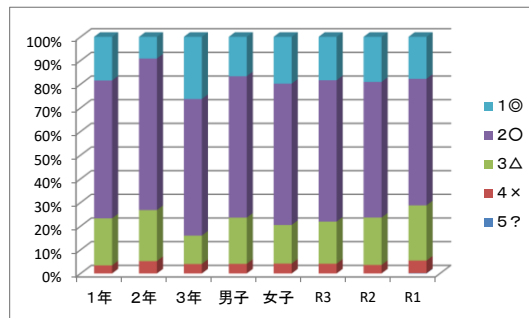
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	30%	29%	27%	30%	28%	29%	28%	22%
2○	だいたい当てはまる	1	54%	59%	54%	56%	55%	56%	55%	48%
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	10%	14%	11%	14%	12%	12%	23%
4×	当てはまらない	-2	3%	3%	5%	4%	3%	3%	5%	7%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			235	218	214	301	366	667	665	704
評価度 (-2~2)			→ 0.96	1.01	0.83	0.97	0.91	0.94	0.90	0.56



【保護者用】

15 お子さんの進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

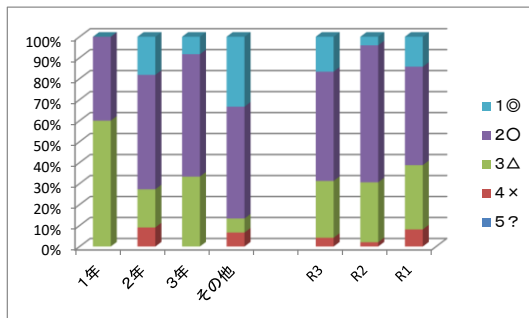
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	18%	9%	26%	17%	20%	18%	19%	18%
2○	だいたい当てはまる	1	58%	64%	58%	60%	60%	60%	57%	53%
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	22%	12%	20%	16%	18%	20%	23%
4×	当てはまらない	-2	3%	5%	4%	4%	4%	4%	4%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			206	153	175	246	288	534	614	660
評価度 (-2~2)			→ 0.68	0.50	0.90	0.65	0.75	0.70	0.68	0.55



【職員用】

15 生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)				R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	0%	18%	8%	33%	17%	4%	14%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	55%	58%	53%	52%	65%	47%
3△	あまり当てはまらない	-1	60%	18%	33%	7%	27%	29%	31%
4×	当てはまらない	-2	0%	9%	0%	7%	4%	2%	8%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15	48	49	49
評価度 (-2~2)			→ -0.20	0.55	0.42	1.00	0.50	0.41	0.29

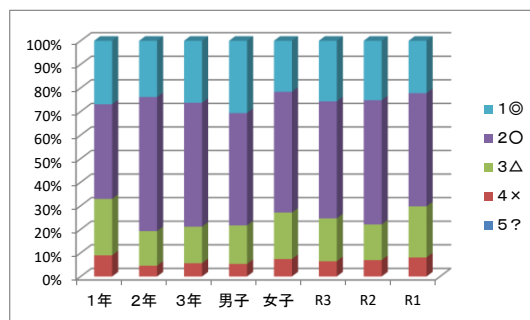


生徒用	今年度全体特徴	各学年とも「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた割合が8割を超え、特に2年生の数値が最も高かった。
	年度間比較	昨年度と比較すると、「よく当てはまる」「だいたいよく当てはまる」の割合が2ポイント上昇した。
	男女間比較	男女とも大きな差異は見られない。
	学年間比較	1学年における進路指導の満足度が7割台と低調な結果となった。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた3学年の割合が突出して高くなっている。
	年度間比較	昨年度と比較すると、「よく当てはまる」「だいたいよく当てはまる」の割合が2ポイント上昇した。
	男女間比較	男女とも大きな差異は見られない。
	学年間比較	1・2学年における進路指導の満足度が7割台と低調な結果となった。
職員	今年度全体特徴	全体的に例年とほぼ変わらないが、「よく当てはまる」の項目の割合が高くなっている。また、学年間によって意識の差にばらつきが見られる。
	年度間比較	昨年度と比較して、よく当てはまるの割合が13ポイント上昇した。
	学年間比較	1学年の評価度が、他学年と比較してマイナスとなっており、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の割合が最も高くなっている。
全体	例年同様、「進路意識の明確化」に対し、生徒・保護者は概ね高評価を得ている一方で、教職員が感じている意識との間には大きな乖離が見られた。特に「あまり当てはまらない」の割合が1学年職員が最も高く、6割にも上ることから、今後はこの分析結果をもとに、生徒・保護者・職員が共に充実した進路指導が行われていると感じられるよう、更なる進路指導の改善や、取組みの工夫を行っていきたいと考える。また、進路目標の明確化に向けた具体的な取組みや企画の提案、その他様々なアイデアを教職員全体で共有し、ひとつでも多く具現化に結び付けられればと考えます。	

【生徒用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

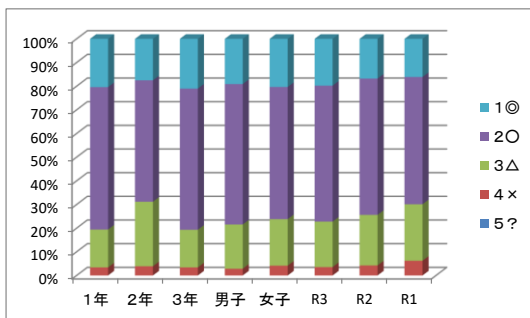
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	27%	24%	26%	31%	22%	26%	25%	22%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	57%	53%	48%	51%	50%	53%	48%
3△	あまり当てはまらない	-1	24%	15%	15%	16%	20%	18%	15%	22%
4×	当てはまらない	-2	9%	5%	6%	5%	7%	6%	7%	8%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			234	218	213	300	365	665	662	706
評価度 (-2~2)			→ 0.52	0.81	0.78	0.82	0.60	0.70	0.74	0.55



【保護者用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

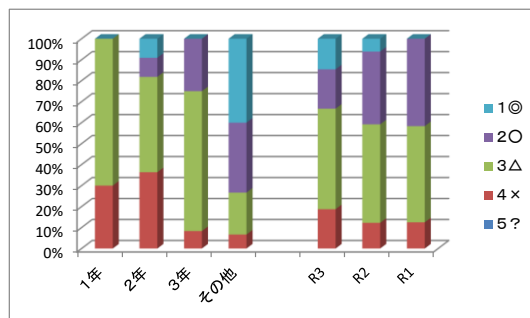
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	20%	18%	21%	19%	20%	17%	16%	
2○	だいたい当てはまる	1	60%	51%	60%	59%	56%	57%	58%	54%
3△	あまり当てはまらない	-1	16%	27%	16%	19%	20%	19%	21%	24%
4×	当てはまらない	-2	3%	4%	3%	3%	4%	4%	4%	6%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			206	154	176	246	290	536	613	658
評価度 (-2~2)			→ 0.78	0.51	0.79	0.73	0.69	0.71	0.61	0.50



【職員用】

16 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)				R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	0%	9%	0%	40%	15%	6%	0%
2○	だいたい当てはまる	1	0%	9%	25%	33%	19%	35%	42%
3△	あまり当てはまらない	-1	70%	45%	67%	20%	48%	47%	46%
4×	当てはまらない	-2	30%	36%	8%	7%	19%	12%	13%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15	48	49	48
評価度 (-2~2)			→ -1.30	-0.91	-0.58	0.80	-0.38	-0.24	-0.29



生徒用	今年度全体特徴	例年と比較すると大きく傾向は変わらないが、一昨年前と比較するとここ2年間は模擬試験に対する意識の変化が継続して高止まりしてきている。
	年度間比較	昨年度と大きな差は見られないが、「よく当てはまる」「だいたいよく当てはまる」の割合が2ポイント減少した。
	男女間比較	男女とも大きな差異は見られない。
	学年間比較	学年が上がるにつれて模試に対する意識が高くなってきており、2年生が最も高く8割を超える結果となった。
保護者用	今年度全体特徴	例年と比較して大きな変化は見られないが、7割以上の保護者が模試の重要性を感じていることが分かった。
	年度間比較	昨年と比較して、評価度が0.61から0.71へと上昇した。
	男女間比較	男女とも大きな差異は見られない。
	学年間比較	全学年とも差異はほとんど見られず、どの学年の保護者も模擬試験は大切だと感じていることが分かる。
職員	今年度全体特徴	全体的に模擬試験が実力養成に役立っていないと感じている割合が高く、半数以上の職員が「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と答えている。
	年度間比較	昨年度と比較して、模試に対する評価度が-0.24から-0.38と更に下落した。
	学年間比較	「当てはまる」の傾向は学年が上がるにつれて高くなっている。一方1・2年生では「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の割合が非常に高い。
全体	生徒・保護者と、教員との模擬試験に対する意識の差が顕著に見られた。特に教員側の模擬試験に対する見方は半数以上が「学力の養成に役立っていない」と感じており、模試を提供している学校側としては、あらためて模擬試験に対する捉え方を見直す必要がある。本校において、模擬試験は「受けて終わる試験」ではなく、「学力養成に役立てるツール」として活用することを再確認すると共に、模試課外(事前・事後指導)の更なる徹底と充実を図ることで、生徒の学力養成に確実に繋げていきたい。	

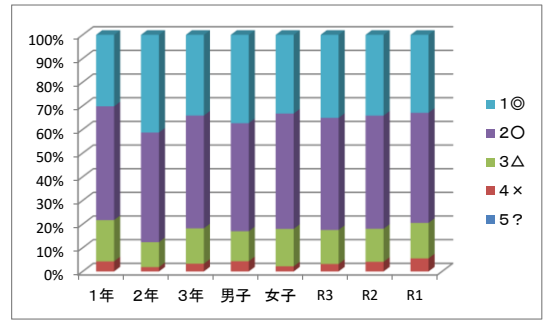
17 災害・非常時の避難方法や連絡方法

F総務

【生徒用】

17 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

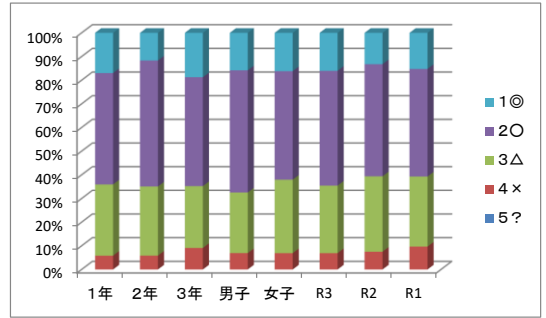
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	30%	41%	34%	37%	33%	35%	34%	33%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	46%	48%	46%	49%	47%	48%	47%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	11%	15%	13%	16%	14%	14%	15%
4×	当てはまらない	-2	4%	2%	3%	4%	2%	3%	4%	6%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			235	218	214	300	367	667	665	707
評価度 (-2~2)			→ 0.83	1.15	0.94	0.99	0.95	0.97	0.94	0.86



【保護者用】

17 保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

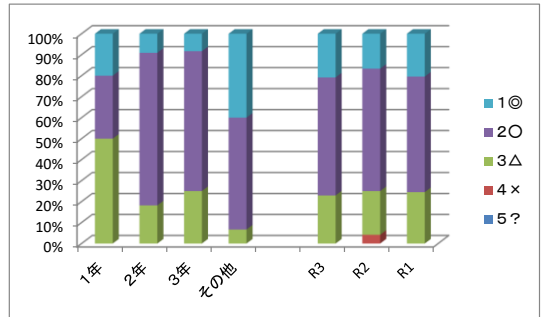
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	17%	12%	19%	16%	16%	16%	13%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	53%	46%	52%	46%	49%	47%	45%
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	29%	26%	26%	31%	29%	32%	30%
4×	当てはまらない	-2	6%	6%	9%	7%	7%	7%	8%	10%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			206	154	176	246	290	536	612	662
評価度 (-2~2)			→ 0.39	0.36	0.39	0.44	0.33	0.38	0.27	0.27



【職員用】

17 生徒・保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	20%	9%	8%	40%		21%	17%	20%
2○	だいたい当てはまる	1	30%	73%	67%	53%		56%	58%	55%
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	18%	25%	7%		23%	21%	24%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	4%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	48	49
評価度 (-2~2)			→ 0.20	0.73	0.58	1.27		0.75	0.63	0.71



生徒用	今年度全体特徴	82%の生徒が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と認識している。
	年度間比較	1・2を回答している生徒は昨年度と変わらないが1を回答した生徒は1ポイント増加した。(80%→82%→82%)
	男女間比較	男女差は特に見られない。
	学年間比較	1・2を回答している生徒が1年生が78%で8割を切っている。(1年78%, 2年87%, 3年82%)
保護者用	今年度全体特徴	65%の保護者が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と認識している。
	年度間比較	1・2を回答した保護者は昨年度よりも5ポイント増加した。(60%→60%→65%)
	男女間比較	女子生徒保護者の認識が若干低い。(男子68%, 女子62%)
	学年間比較	2学年保護者の認識がわずかに高いようである。(1年64%, 2年68%, 3年65%)
職員	今年度全体特徴	77%の職員が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と認識している。
	年度間比較	1・2を回答した職員は昨年度よりも2ポイント増加した。(75%→75%→77%)
	学年間比較	認識に学年毎ばらつきがある。(1年50%, 2年82%, 3年75%)
全体	昨年度から配布を始めたリーフレットの効果が、全体的にはわずかではあるが見られたのではないだろうか。今後は年一度の配布ではなく、休業明けの節目や防災訓練毎に配布するなど、災害時の避難方法や連絡方法について周知徹底を図りたいと考える。また、コロナ禍となり、様々な情報を各家庭に届ける手段として一斉メールが非常に役立つと思われるので、平常時にも避難方法などの情報配信を行うことで、保護者への周知徹底に役立つと考える。今後の活用を検討していきたい。	

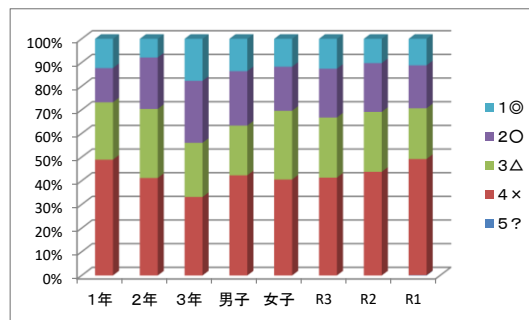
18 図書館

F総務

【生徒用】

18 自分は図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

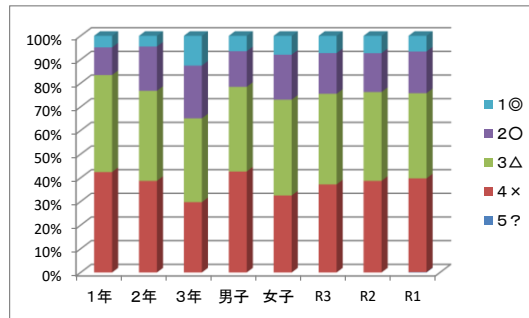
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	12%	8%	18%	14%	12%	13%	10%	11%	
2○	だいたい当てはまる	1	14%	22%	26%	23%	19%	21%	21%	18%	
3△	あまり当てはまらない	-1	24%	29%	23%	21%	29%	25%	25%	21%	
4×	当てはまらない	-2	49%	41%	33%	42%	41%	41%	44%	49%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			235	216	214	300	365	665	664	705	
評価度 (-2~2)			→	-0.83	-0.74	-0.28	-0.55	-0.68	-0.62	-0.72	-0.79



【保護者用】

18 お子さんは、図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

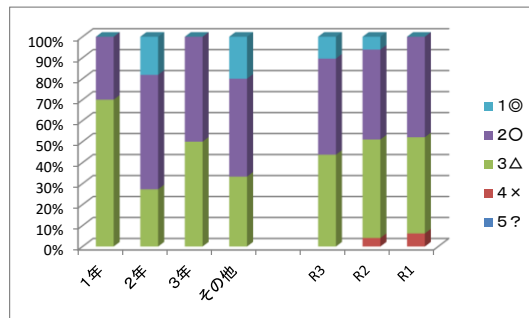
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	5%	5%	13%	7%	8%	7%	7%	7%	
2○	だいたい当てはまる	1	12%	19%	22%	15%	19%	17%	16%	18%	
3△	あまり当てはまらない	-1	41%	38%	35%	36%	40%	38%	38%	36%	
4×	当てはまらない	-2	42%	39%	30%	43%	33%	37%	39%	40%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			205	155	175	246	289	535	615	664	
評価度 (-2~2)			→	-1.04	-0.88	-0.47	-0.93	-0.71	-0.81	-0.84	-0.84



【職員用】

18 生徒は、図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)				R3計	R2計	R1計	
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	18%	0%	20%	10%	6%	0%	
2○	だいたい当てはまる	1	30%	55%	50%	47%	46%	43%	48%	
3△	あまり当てはまらない	-1	70%	27%	50%	33%	44%	47%	46%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%	0%	4%	6%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15	48	49	48	
評価度 (-2~2)			→	-0.40	0.64	0.00	0.53	0.23	0.00	-0.10



生徒用	今年度全体特徴	34%の生徒が図書館を利用している。
	年度間比較	1・2と回答している生徒が29%→31%→34%と少しずつ増えている。
	男女間比較	女子(31%)より男子(37%)の方が利用している生徒が若干多い。
	学年間比較	3年生の利用が多い。(1年26%、2年30%、3年44%)
保護者用	今年度全体特徴	24%の保護者が生徒は利用していると認識している。
	年度間比較	1・2と回答している保護者は前年度と横ばい(23%→24%)である。
	男女間比較	大差はないが、女子の方が若干多い。(男子22%、女子27%)
	学年間比較	学年が上がるにつれて利用が多いと認識している。(1年17%、2年24%、3年35%)
職員	今年度全体特徴	56%の職員が生徒は図書館を利用していると認識している。
	年度間比較	1・2と回答している職員が48%→49%→56%と増えている。
	学年間比較	2年生の利用が多いと認識している。(1年30%、2年73%、3年50%)
全体	1・2と回答している生徒、職員は毎年少しずつ増えている。3年生は教員の声がかきも、本の探し方、データベースの活用の仕方を理解し、進路関係に図書館を活用する生徒が多かった。1・2年生は朝の読書の時間を設けていないことや、総探や課題研究での調べ物にiPadの使用を促したことから、図書館を授業で利用する機会が減っている。コロナ感染対策のため座席数を一時的に減らしたことも影響していると考えられる。ICTの図書館での活用、また書籍や雑誌と併用した授業、学習支援を進めたい。	

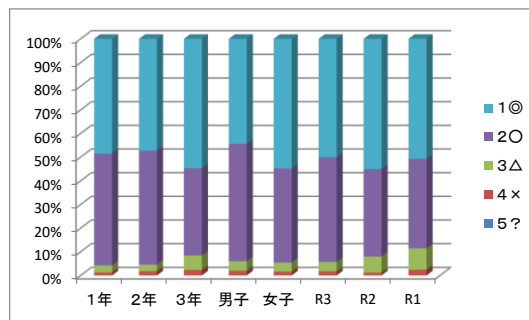
19 清掃活動等

D保厚

【生徒用】

19 清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

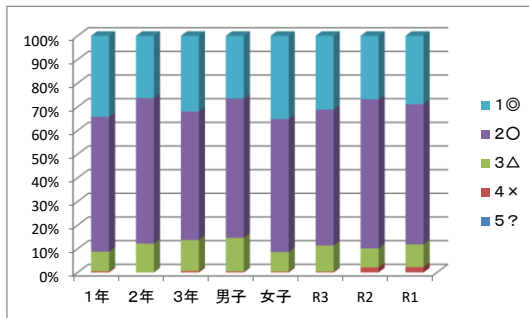
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	49%	47%	55%	44%	55%	50%	55%	51%	
2○	だいたい当てはまる	1	47%	48%	37%	50%	40%	44%	37%	38%	
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	3%	6%	4%	4%	4%	7%	9%	
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	2%	2%	2%	2%	1%	2%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			235	218	214	300	367	667	664	706	
評価度 (-2~2)			→	1.39	1.36	1.36	1.30	1.42	1.37	1.38	1.25



【保護者用】

19 お子さんは、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

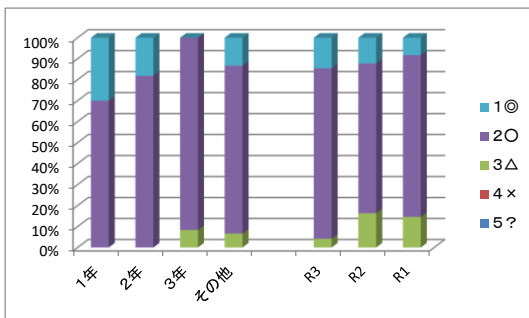
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	34%	26%	32%	26%	35%	31%	27%	29%	
2○	だいたい当てはまる	1	57%	62%	54%	59%	56%	57%	63%	59%	
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	12%	13%	14%	8%	11%	8%	10%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	1%	0%	0%	0%	2%	2%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			205	156	175	246	290	536	611	657	
評価度 (-2~2)			→	1.16	1.02	1.04	0.97	1.18	1.08	1.04	1.03



【職員用】

19 生徒は、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	その他		計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	30%	18%	0%	13%		15%	12%	8%	
2○	だいたい当てはまる	1	70%	82%	92%	80%		81%	71%	77%	
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	8%	7%		4%	16%	15%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	49	48	
評価度 (-2~2)			→	1.30	1.18	0.83	1.00		1.06	0.80	0.79



生徒用	今年度全体特徴	清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしているという意識は全体的に年々上昇傾向である。
	年度間比較	数値として昨年度より0.01ポイント減少しているが、ほぼ変わらないと見て取れる。
	男女間比較	女子の評価が高い傾向にある。
	学年間比較	1年生が最も高い自己肯定感が見られる。
保護者用	今年度全体特徴	例年に比べ、回答率が78.3%と低くなっているが、自分の子供が役割きちんとこなしているという意識は上昇している。
	年度間比較	年々評価は高くなってきている。
	男女間比較	女子の評価が高い傾向にある。
	学年間比較	1年生の評価が毎年高い傾向にある。
職員	今年度全体特徴	生徒が学校における自分の役割分担をきちんとこなしていると感じている教員が増えている。
	年度間比較	昨年度より0.26ポイント高くなっており、◎の評価も増えている。
	学年間比較	1年生の評価が特に高い。学年の清掃活動などが影響している可能性も考えられる。
全体	生徒たちは清掃活動や自分の役割分担をきちんとこなしていると前向きに捉えている。教員の評価は一人でもそうでない生徒がいると下がることも考えられるため、一概には言えないが、年々評価が高くなってきていることは良い傾向である。1年生が自己の活動に肯定的であり、学年が上がっても数値が下がらないように教員側の仕掛けも必要なかもしれない。	

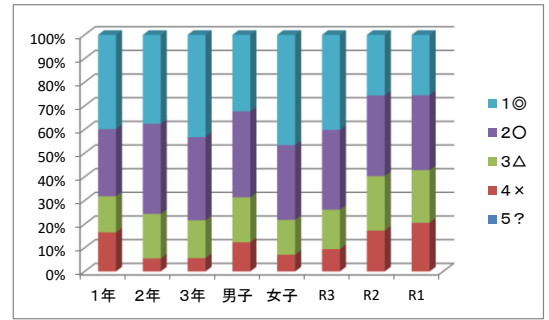
20 スクールカウンセリング

D保厚

【生徒用】

20 スクールカウンセリングの制度を知っている。

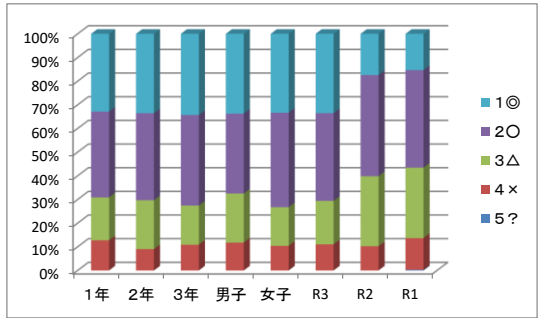
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	40%	38%	43%	32%	47%	40%	26%	26%
2○	だいたい当てはまる	1	28%	38%	35%	36%	32%	34%	34%	32%
3△	あまり当てはまらない	-1	15%	19%	16%	19%	15%	17%	23%	22%
4×	当てはまらない	-2	17%	6%	6%	12%	7%	9%	17%	21%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			236	218	213	300	367	667	660	705
評価度 (-2~2)			→ 0.60	0.83	0.94	0.57	0.96	0.79	0.28	0.19



【保護者用】

20 スクールカウンセリングの制度が保護者に伝えられている。

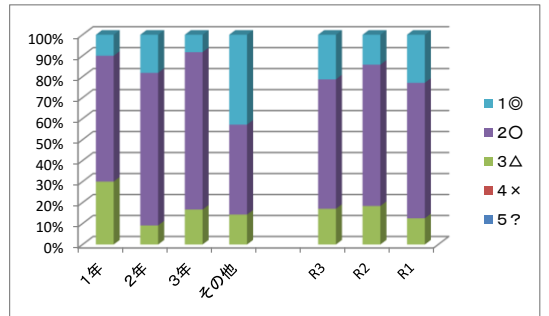
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	33%	34%	34%	34%	33%	34%	17%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	36%	37%	38%	34%	40%	37%	43%	41%
3△	あまり当てはまらない	-1	18%	21%	17%	21%	16%	18%	30%	30%
4×	当てはまらない	-2	13%	9%	11%	12%	10%	11%	10%	13%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			204	155	175	246	288	534	615	658
評価度 (-2~2)			→ 0.58	0.65	0.69	0.57	0.69	0.64	0.27	0.15



【職員用】

20 生徒・保護者に、スクールカウンセリングの制度は浸透している。

no	選択肢	評価値	R3 (%)				R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	10%	18%	8%	43%	21%	14%	23%
2○	だいたい当てはまる	1	60%	73%	75%	43%	62%	67%	65%
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	9%	17%	14%	17%	18%	13%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			10	11	12	14	47	49	48
評価度 (-2~2)			→ 0.50	1.00	0.75	1.14	0.87	0.78	0.98



生徒用	今年度全体特徴	社会的にもそうであるが、本校のSCの制度は年々広まってきている。
	年度間比較	R1からR2は0.12ポイント増に比べ、R2からR3は0.37ポイント増であり、ここ一年でもSCの制度の認知度は高まっている。
	男女間比較	女子の認知度が高い。
	学年間比較	学年が上がるにつれて認知度は高まってきている。1年生のうちから気軽に利用できるよう改善が必要である。
保護者用	今年度全体特徴	生徒同様保護者への認知度も年々高まってきている。
	年度間比較	全体的には認知度は高まっているが、昨年度よりも×の割合が微増しているため、まだまだ周知方法に改善の余地がある。
	男女間比較	保護者も女子の認知度が高い。
	学年間比較	学年が上がるにつれて、保護者間にSCの制度が認知されていく傾向が見られる。
職員	今年度全体特徴	教員間でもSCの制度が浸透していると感じている教員が増えている。
	年度間比較	R2よりも増えているが、R1よりは減少している。
	学年間比較	2学年による評価が他学年と比較して高くなっている。
全体	年々SCの制度の認知度が高くなっていることや、昨年度よりカウンセリングの利用数が増えていることから、学校におけるSCの必要性が伺える。また、教育相談においては、校内掲示や口頭だけの案内だけでなく、一斉メールや入学式、三者面談などでも広く生徒・保護者に周知していることが効果的であると思われる。	

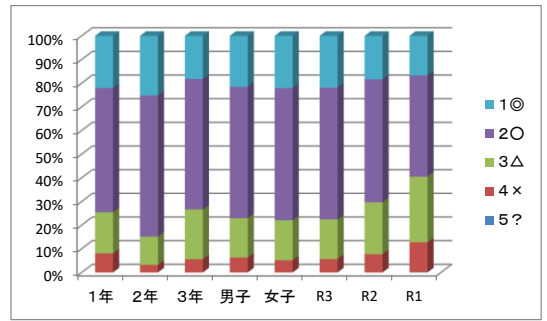
21 教育相談の体制

D 保厚

【生徒用】

21 生徒にとって、教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。

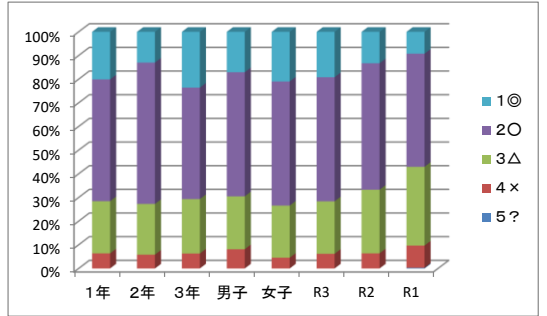
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	22%	25%	18%	22%	22%	18%	17%	
2○	だいたい当てはまる	1	53%	60%	55%	55%	56%	52%	43%	
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	12%	21%	17%	17%	22%	28%	
4×	当てはまらない	-2	8%	3%	6%	6%	6%	8%	13%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			236	218	214	301	367	668	664	706
評価度 (-2~2)			→ 0.63	0.92	0.59	0.69	0.73	0.71	0.51	0.23



【保護者用】

21 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

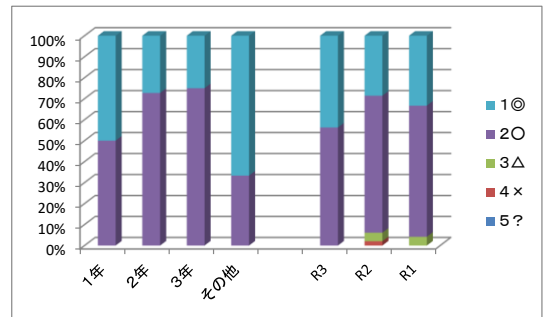
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	20%	13%	24%	17%	21%	19%	13%	9%
2○	だいたい当てはまる	1	51%	60%	47%	52%	52%	53%	48%	
3△	あまり当てはまらない	-1	22%	21%	23%	22%	22%	27%	33%	
4×	当てはまらない	-2	6%	6%	6%	8%	5%	6%	9%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			204	154	174	246	286	532	610	661
評価度 (-2~2)			→ 0.57	0.53	0.59	0.48	0.63	0.56	0.40	0.14



【職員用】

21 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	50%	27%	25%	67%		44%	29%	33%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	73%	75%	33%		56%	65%	63%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	0%	0%		0%	4%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	2%	0%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	49	48
評価度 (-2~2)			→ 1.50	1.27	1.25	1.67		1.44	1.14	1.25



生徒用	今年度全体特徴	必要なときに相談できる体制が整ってきている。
	年度間比較	評価は年々上がっており、教育相談の体制がある程度周知されてきていると考えられる。
	男女間比較	女子に相談体制が周知されている傾向があると考えられる。
	学年間比較	学年差はさほど見られないが、×を選択した生徒がどの学年も一定数いることは、今後の体制に改善の余地があると考えられる。
保護者用	今年度全体特徴	必要なときに相談できる体制が整ってきている。
	年度間比較	評価は年々上がっており、教育相談の体制がある程度周知されてきていると考えられる。
	男女間比較	女子に相談体制が周知されている傾向があると考えられる。
	学年間比較	学年差はさほど見られないが、×を選択した生徒がどの学年も6%いることは、今後の体制に改善の余地がある。
職員	今年度全体特徴	全ての教員が◎または○と回答している。
	年度間比較	昨年に比べても数値は上昇しており、概ね教員やSCが相談に応じる体制ができていると考えている。
	学年間比較	学年差はさほど見られないが、3年生が毎年数値が低いことは分析の余地がある。
全体	教育相談に関しては、年々評価が上がっている。様々な要因があると考えられるが、保護者が安心して子供を通わせられるよう、生徒が相談しやすい雰囲気作りが必要であると思われる。	

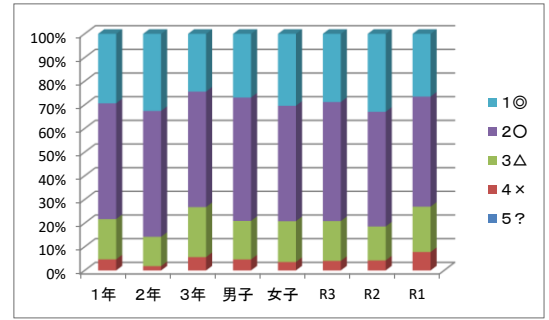
22 健康診断

D保厚

【生徒用】

22 健康診断等の結果は、自分の健康管理に生かされている。

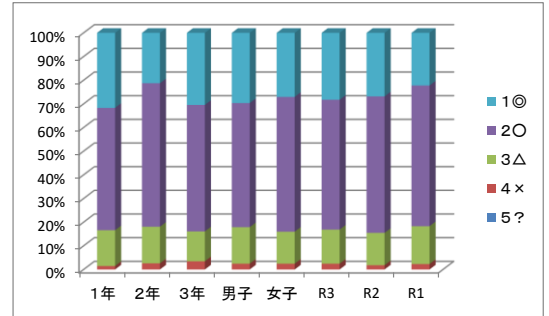
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	29%	33%	24%	27%	30%	29%	33%	27%
2○	だいたい当てはまる	1	49%	53%	49%	52%	49%	50%	48%	47%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	12%	21%	16%	17%	17%	14%	19%
4×	当てはまらない	-2	5%	2%	6%	5%	4%	4%	4%	8%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			235	218	213	301	365	666	662	705
評価度 (-2~2)			→ 0.81	1.02	0.65	0.80	0.85	0.83	0.92	0.65



【保護者用】

22 健康診断等の結果は、お子さんの健康管理に生かされている。

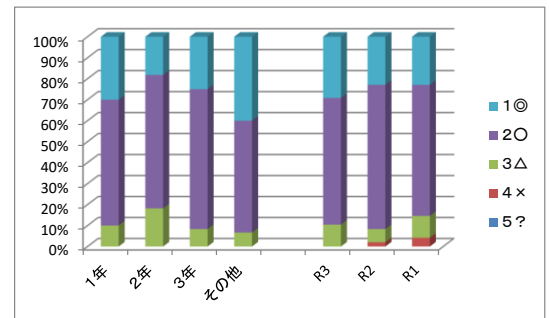
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	32%	21%	30%	30%	27%	28%	27%	22%
2○	だいたい当てはまる	1	52%	61%	53%	52%	57%	55%	58%	59%
3△	あまり当てはまらない	-1	15%	15%	13%	15%	14%	14%	14%	16%
4×	当てはまらない	-2	1%	3%	3%	2%	2%	2%	2%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	155	174	246	288	534	614	656
評価度 (-2~2)			→ 0.97	0.83	0.95	0.91	0.93	0.92	0.94	0.83



【職員用】

22 健康診断等の結果は、生徒の健康管理に生かされている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	30%	18%	25%	40%		29%	23%	23%
2○	だいたい当てはまる	1	60%	64%	67%	53%		60%	69%	63%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	18%	8%	7%		10%	6%	10%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	2%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	48	48
評価度 (-2~2)			→ 1.10	0.82	1.08	1.27		1.08	1.04	0.90



生徒用	今年度全体特徴	概ね健康診断が健康管理に生かされていると考えている。
	年度間比較	昨年より数値が下がってるが、健康診断の結果が、必ずしも直接健康管理にいかされるわけではないので数値だけで一概には言えない。
	男女間比較	男女間に差はさほど見られない。
	学年間比較	3年生の評価が低いのは分析の余地がある。
保護者用	今年度全体特徴	半数以上の保護者が健康委診断が健康管理に生かされていると考えている。
	年度間比較	昨年とほぼ変わらない。
	男女間比較	男女間に差はさほど見られない。
	学年間比較	学年差はさほど見られない。
職員	今年度全体特徴	健康診断の結果が病気の発見につながった事例もあり、生かされていると考えている教員が多い。
	年度間比較	年々生かされていると考える教員が増えている。
	学年間比較	学年差はさほど見られない。
全体	まずは新型コロナウイルス感染症対策のため、検温の確認、マスク着用の奨励、手指消毒、黙食など、今年度も健康管理には気を遣う年であった。また、健康診断の結果から病気を発見し、早期対応できたことは、健康診断が生かされた良い事例となったと思う。	

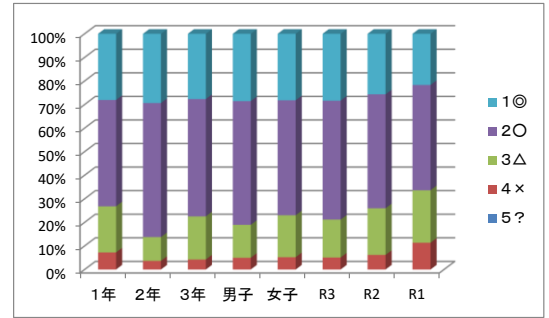
23 環境整備

D保厚

【生徒用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

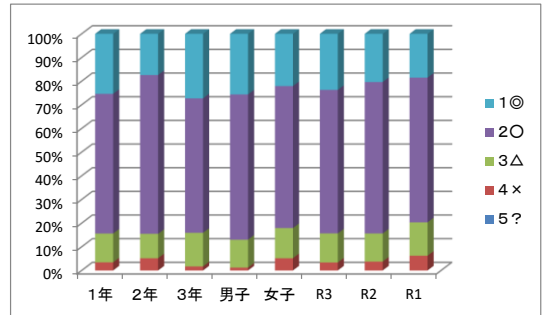
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	28%	29%	28%	29%	28%	28%	26%	22%
2○	だいたい当てはまる	1	45%	57%	50%	52%	49%	50%	48%	45%
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	10%	18%	14%	18%	16%	20%	22%
4×	当てはまらない	-2	7%	4%	4%	5%	5%	5%	6%	11%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			235	218	213	301	365	666	662	705
評価度 (-2~2)			→ 0.67	0.98	0.78	0.86	0.77	0.81	0.68	0.43



【保護者用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

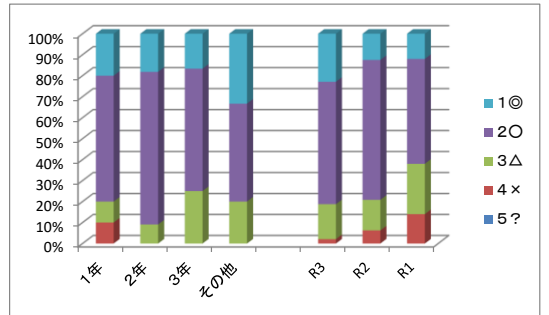
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	25%	17%	27%	26%	22%	24%	20%	19%
2○	だいたい当てはまる	1	59%	67%	57%	61%	60%	61%	64%	61%
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	10%	14%	12%	13%	12%	12%	14%
4×	当てはまらない	-2	3%	5%	2%	1%	5%	3%	4%	6%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	155	176	246	290	536	614	659
評価度 (-2~2)			→ 0.91	0.81	0.94	0.98	0.81	0.89	0.85	0.72



【職員用】

23 校地内の環境整備・緑化等がなされており、学習環境が整っている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	20%	18%	17%	33%		23%	13%	12%
2○	だいたい当てはまる	1	60%	73%	58%	47%		58%	67%	50%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	9%	25%	20%		17%	15%	24%
4×	当てはまらない	-2	10%	0%	0%	0%		2%	6%	14%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	48	50
評価度 (-2~2)			→ 0.70	1.00	0.67	0.93		0.83	0.65	0.22



生徒用	今年度全体特徴	エアコンの導入、トイレの改修工事などの影響で評価が上がっていると考えられる。
	年度間比較	年々評価は上がっている。
	男女間比較	男子の数値がやや高い。女子トイレの匂い、清掃状況などが問題点と思われる。
	学年間比較	1学年の数値が高いのは検討の余地がある。
保護者用	今年度全体特徴	全体的に概ね満足していると言える。
	年度間比較	昨年度よりやや数値は上がった。エアコンの導入やトイレの改修工事などが影響しているものと考えられる。
	男女間比較	男子の数値がやや高い。女子トイレの匂い、清掃状況などが問題点と思われる。
	学年間比較	学年間に大きな差は見られない。
職員	今年度全体特徴	3年生の教員の評価が低いのは、教室や廊下のカビの問題があるからと考えられる。
	年度間比較	昨年度よりやや数値は上がった。エアコンの導入やトイレの改修工事などが影響しているものと考えられる。
	学年間比較	3学年間で大きな差があり、環境整備の不備の改善などを図りたい。
全体	教室用にエアコンの導入、洋式トイレの改修工事などの大きな環境の改善があった年であった。しかし、1階の湿気の問題や、トイレの補充用トイレットペーパーの保管の問題など今後改善すべき点はまだまだあるので、検討していきたい。	

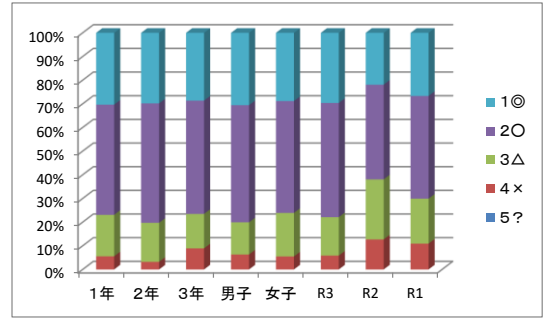
24 有意義な学校行事

F総務

【生徒用】

24 自分にとって、有意義な学校行事がある。

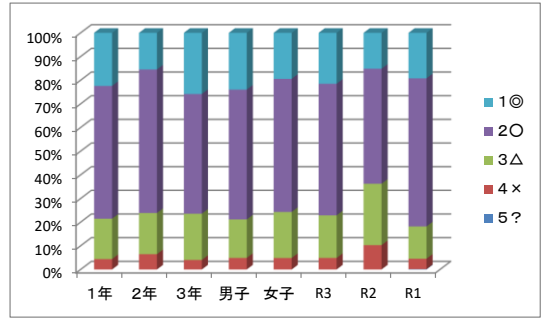
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	30%	30%	29%	31%	29%	30%	22%	27%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	50%	48%	50%	47%	48%	40%	43%
3△	あまり当てはまらない	-1	18%	17%	15%	14%	18%	16%	25%	19%
4×	当てはまらない	-2	6%	3%	9%	6%	5%	6%	13%	11%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			234	218	213	301	364	665	662	705
評価度 (-2~2)			→ 0.79	0.87	0.73	0.84	0.76	0.80	0.33	0.56



【保護者用】

24 お子さんにとって、有意義な学校行事がある。

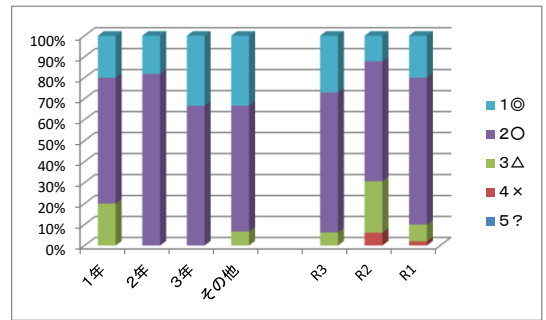
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	22%	15%	26%	24%	19%	22%	15%	19%
2○	だいたい当てはまる	1	56%	61%	51%	55%	56%	56%	49%	63%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	17%	20%	16%	19%	18%	26%	14%
4×	当てはまらない	-2	4%	6%	4%	5%	5%	5%	10%	4%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			205	155	174	246	288	534	613	660
評価度 (-2~2)			→ 0.75	0.61	0.75	0.77	0.66	0.71	0.32	0.79



【職員用】

24 生徒にとって、有意義な学校行事がある。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	20%	18%	33%	33%		27%	12%	20%
2○	だいたい当てはまる	1	60%	82%	67%	60%		67%	57%	70%
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	0%	0%	7%		6%	24%	8%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	6%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15		48	49	50
評価度 (-2~2)			→ 0.80	1.18	1.33	1.20		-1.15	0.45	0.98



生徒用	今年度全体特徴	78%の生徒が「有意義な学校行事がある」(1・2)と回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して評価度は大幅に増加している。
	男女間比較	大きな差は見られない。
	学年間比較	大きな差は見られない。
保護者用	今年度全体特徴	78%の保護者が「有意義な学校行事がある」(1・2)と回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して評価度は大幅に増加している。
	男女間比較	大きな差は見られない。
	学年間比較	大きな差は見られない。
職員	今年度全体特徴	94%の職員が「有意義な学校行事がある」(1・2)と回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して評価度は大幅に増加している。
	学年間比較	3学年の評価度が高い。
全体	縮小規模ではあったが松陵祭や球技大会を実施することができたため、昨年度と比較して評価は高い。	

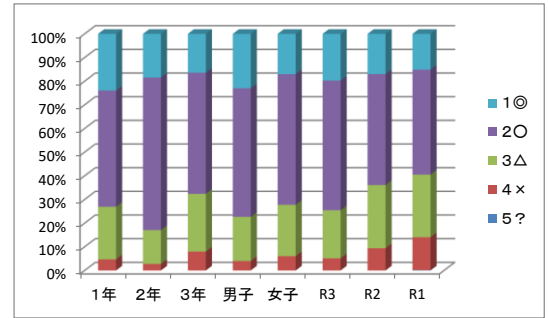
25 特色ある学校づくり

H全体

【生徒用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

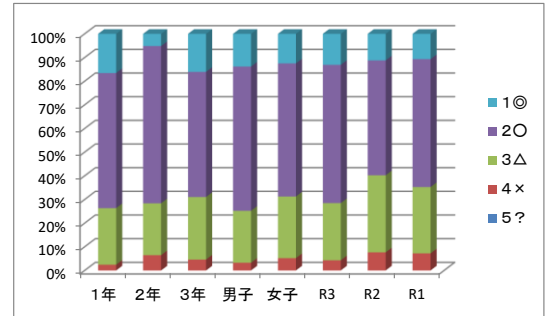
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	24%	18%	16%	23%	17%	20%	17%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	49%	65%	51%	54%	55%	55%	47%	44%	
3△	あまり当てはまらない	-1	22%	14%	24%	19%	22%	20%	27%	26%	
4×	当てはまらない	-2	5%	3%	8%	4%	6%	5%	9%	14%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			234	217	213	300	364	664	659	706	
評価度 (-2~2)			→	0.65	0.82	0.44	0.74	0.55	0.64	0.35	0.20



【保護者用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

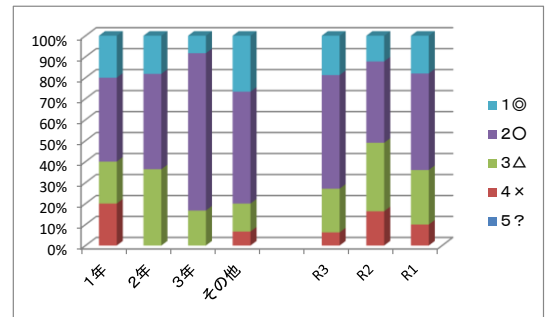
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	17%	5%	16%	14%	13%	13%	11%	11%	
2○	だいたい当てはまる	1	57%	66%	53%	61%	56%	58%	49%	54%	
3△	あまり当てはまらない	-1	24%	22%	26%	22%	26%	24%	33%	28%	
4×	当てはまらない	-2	2%	6%	5%	3%	5%	4%	8%	7%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			205	155	174	246	288	534	614	664	
評価度 (-2~2)			→	0.61	0.42	0.49	0.60	0.45	0.52	0.23	0.33



【職員用】

25 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	20%	18%	8%	27%		19%	12%	18%	
2○	だいたい当てはまる	1	40%	45%	75%	53%		54%	39%	46%	
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	36%	17%	13%		21%	33%	26%	
4×	当てはまらない	-2	20%	0%	0%	7%		6%	16%	10%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	49	50	
評価度 (-2~2)			→	0.20	0.45	0.75	0.80		0.58	-0.02	0.36



生徒用	今年度全体特徴	75%の生徒が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」(1・2)と回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して評価度は大幅に増加している。
	男女間比較	男子の評価度が高い。
	学年間比較	2学年の評価度が高い。
保護者用	今年度全体特徴	71%の保護者が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」(1・2)と回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して評価度は大幅に増加している。
	男女間比較	男子保護者の評価度が高い。
	学年間比較	1学年保護者の評価度が高い。
職員	今年度全体特徴	73%の職員が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」(1・2)と回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して評価度は大幅に増加している。
	学年間比較	3学年の評価度が高い。
全体	昨年度と比べて評価度は高くなっているが、特色ある学校づくりをするために具体的にどのようなことに取り組んでいるのか(取り組んでいるのか)、これまで以上に発信していく必要があると思う。	

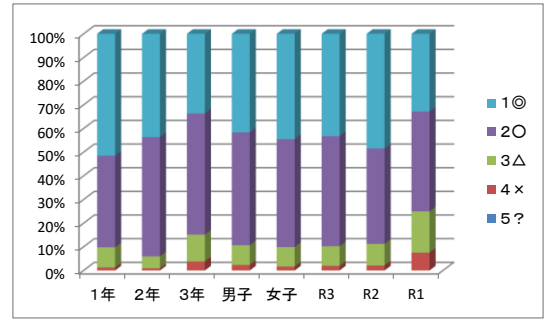
26 学校情報の保護者への伝達

H全体

【生徒用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

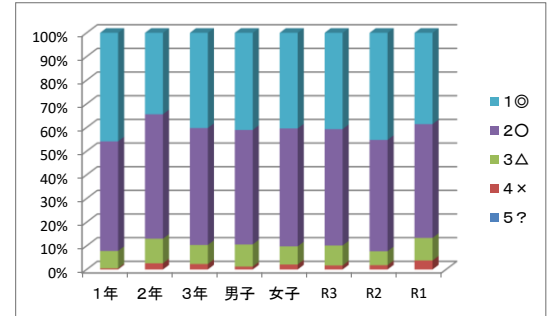
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	51%	44%	34%	42%	45%	43%	48%	33%	
2○	だいたい当てはまる	1	39%	50%	51%	48%	46%	47%	40%	42%	
3△	あまり当てはまらない	-1	9%	5%	11%	8%	8%	8%	9%	17%	
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	4%	2%	2%	2%	2%	8%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			235	218	211	300	364	664	659	704	
評価度 (-2~2)			→	1.31	1.31	1.00	1.18	1.23	1.21	1.24	0.75



【保護者用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

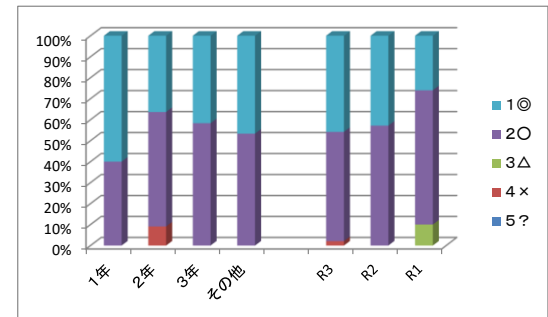
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	46%	34%	40%	41%	40%	41%	45%	39%	
2○	だいたい当てはまる	1	46%	53%	49%	48%	50%	49%	47%	48%	
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	10%	8%	9%	8%	8%	6%	10%	
4×	当てはまらない	-2	0%	3%	2%	1%	2%	2%	2%	4%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			205	154	174	246	287	533	610	661	
評価度 (-2~2)			→	1.30	1.06	1.17	1.19	1.19	1.19	1.28	1.08



【職員用】

26 保護者に対して、一斉メールや学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3 計	R2 計	R1 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	60%	36%	42%	47%		46%	43%	26%	
2○	だいたい当てはまる	1	40%	55%	58%	53%		52%	57%	64%	
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	0%	0%		0%	0%	10%	
4×	当てはまらない	-2	0%	9%	0%	0%		2%	0%	0%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	49	50	
評価度 (-2~2)			→	1.60	1.09	1.42	1.47		1.40	1.43	1.06



生徒用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」を合わせた肯定的な回答の割合が90%を占めている。
	年度間比較	ほとんど差異は見られない。
	男女間比較	ほとんど差異は見られない。
	学年間比較	学年進行で否定的な回答が増加した。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」を合わせた肯定的な回答の割合が90%を占めている。
	年度間比較	ほとんど差異は見られない。
	男女間比較	ほとんど差異は見られない。
	学年間比較	学年進行で否定的な回答が増加する傾向にあるが、2学年がやや低い数値となった。
職員	今年度全体特徴	ほぼ全ての職員が肯定的な回答した。
	年度間比較	ほとんど差異は見られない。
	学年間比較	学年進行で否定的な回答が増加する傾向にあるが、2学年がやや低い数値となった。
全体	生徒・保護者・職員のすべての対象において、肯定的な回答の割合が90%を超える高い水準で評価されている。	

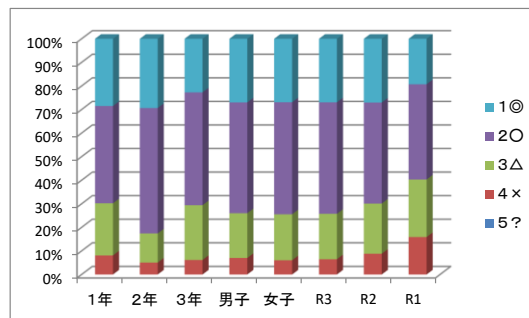
27 校舎やグランドなどの施設・設備の整備

G事務

【生徒用】

27 校舎やグランドなどの施設や設備は整備されている。

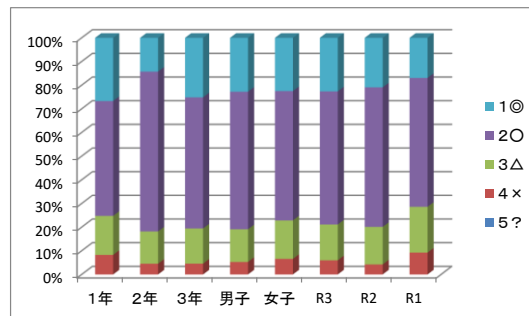
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	29%	29%	23%	27%	27%	27%	27%	19%	
2○	だいたい当てはまる	1	41%	53%	48%	47%	48%	47%	43%	40%	
3△	あまり当てはまらない	-1	22%	12%	23%	19%	20%	19%	21%	24%	
4×	当てはまらない	-2	8%	5%	6%	7%	6%	6%	9%	16%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			235	218	211	300	364	664	658	705	
評価度 (-2~2)			→	0.60	0.89	0.58	0.68	0.70	0.69	0.58	0.23



【保護者用】

27 校舎やグランドなどの施設や設備は整備されている。

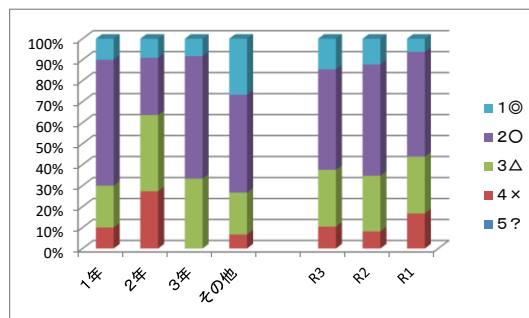
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	27%	14%	25%	23%	22%	23%	21%	17%	
2○	だいたい当てはまる	1	49%	68%	55%	58%	55%	56%	59%	54%	
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	14%	15%	14%	16%	15%	16%	19%	
4×	当てはまらない	-2	8%	5%	5%	5%	7%	6%	4%	9%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
人数計			206	154	175	246	289	535	612	661	
評価度 (-2~2)			→	0.69	0.73	0.82	0.79	0.70	0.74	0.76	0.51



【職員用】

27 校舎やグランドなどの施設や設備は整備されている。

no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3	R2	R1	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	10%	9%	8%	27%		15%	12%	6%	
2○	だいたい当てはまる	1	60%	27%	58%	47%		48%	53%	50%	
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	36%	33%	20%		27%	27%	27%	
4×	当てはまらない	-2	10%	27%	0%	7%		10%	8%	17%	
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
人数計			10	11	12	15		48	49	48	
評価度 (-2~2)			→	0.40	-0.45	0.42	0.67		0.29	0.35	0.02



生徒用	今年度全体特徴	生徒の70%以上が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度より「当てはまる」が4%増加している。
	男女間比較	男女ともほぼ同じ評価である。
	学年間比較	2学年の評価が高く、1・3学年は同程度の評価である。
保護者用	今年度全体特徴	保護者の70%以上が整備されると回答している。
	年度間比較	昨年度とほぼ同程度の評価である。
	男女間比較	男子が若干評価が高い。
	学年間比較	1・3学年は、ほぼ同程度の評価で2学年は「だいたい当てはまる」の比重が高い。
職員	今年度全体特徴	職員の60%以上が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度とほぼ同程度の評価であるが、若干「当てはまらない」のポイントが高くなっている。
	学年間比較	1学年と3学年は同程度の評価だが、2学年の評価が低い。
全体	施設設備の経年劣化が顕著ではあり、予算の関係もあるが、生徒が安全かつ快適な学校生活を送ることができるように対応していきたい。	

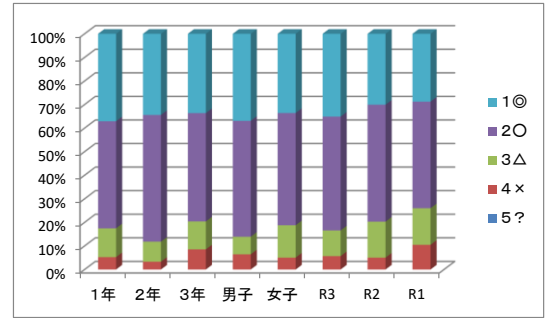
28 学校生活の充実度

H全体

【生徒用】

28 自分にとって、学校生活は充実している。

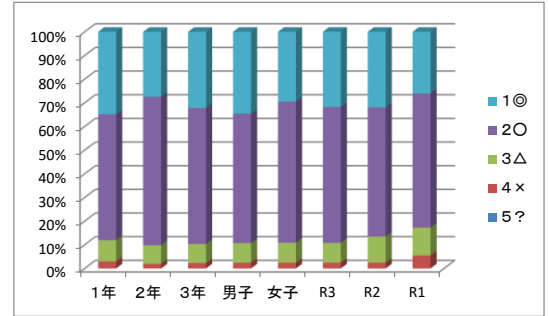
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	37%	34%	34%	37%	34%	35%	30%	29%
2○	だいたい当てはまる	1	45%	54%	46%	49%	48%	48%	50%	45%
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	8%	12%	7%	14%	11%	15%	16%
4×	当てはまらない	-2	5%	3%	9%	6%	5%	6%	5%	10%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			229	212	211	295	357	652	655	688
評価度 (-2~2)			→ 0.97	1.08	0.84	1.03	0.91	0.96	0.84	0.66



【保護者用】

28 お子さんの学校生活は充実している。

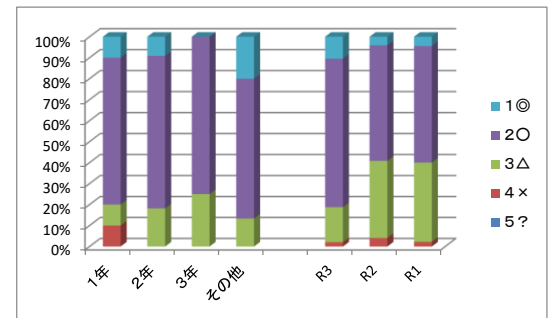
no	選択肢	評価値	R3 (%)					R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	35%	27%	32%	35%	29%	32%	32%	26%
2○	だいたい当てはまる	1	53%	63%	57%	55%	60%	57%	55%	57%
3△	あまり当てはまらない	-1	9%	8%	8%	8%	8%	8%	11%	12%
4×	当てはまらない	-2	3%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	5%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			201	153	174	243	285	528	608	660
評価度 (-2~2)			→ 1.08	1.06	1.09	1.11	1.05	1.08	1.02	0.86



【職員用】

28 生徒の学校生活は充実している。

no	選択肢	評価値	R3 (%)				R3計	R2計	R1計
			1年	2年	3年	その他			
1◎	よく当てはまる	2	10%	9%	0%	20%	10%	4%	4%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	73%	75%	67%	71%	55%	56%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	18%	25%	13%	17%	37%	38%
4×	当てはまらない	-2	10%	0%	0%	0%	2%	4%	2%
5?	わからない	なし	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人数計			10	11	12	15	48	49	45
評価度 (-2~2)			→ 0.60	0.73	0.50	0.93	0.71	0.18	0.22



		¥/
生徒用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」で83%と概ね高評価である。
	年度間比較	年々徐々に数値が上昇している。
	男女間比較	男子の評価度の方が若干高い。特に「あまり当てはまらない」で7ポイントの差がある。
	学年間比較	学年によりばらつきが見られるが、2年の評価度が高い。特に否定的な数値が低い。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」で89%と高評価である。
	年度間比較	生徒同様に、年々徐々に数値が上昇している。
	男女間比較	男子の評価度の方が若干高い。
	学年間比較	学年間で大きなばらつきは見られない。
職員	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」で81%と高評価である。
	年度間比較	一昨年、今年に比べ、評価が大きく上昇した。
	学年間比較	全体的に評価度が低い傾向にあるが、そのなかでは2学年や学年所属していない職員の評価度が高い。
全体	生徒・保護者の評価は概ね高い。教職員の評価は、今年度大きく上昇した。昨年度に比べ、コロナ禍で制限のある中でも学校行事や部活動等が行われたためと考えられ、生徒・保護者と教職員の間のずれが解消されてきている。	